

対象校No.

注4

学校コード F113310103395

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

日本大学 生物資源科学部 海洋生物学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人日本大学

令和7年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	本部学務課 生物資源科学部教務課
職名・氏名	ホンブガクム フジムチョウ 本部学務部事務長 マツバラ マミ 松原 麻美 セイブツシゲンカガクブ キョウムカチョウ 生物資源科学部 教務 課長 ヨコチケイタ 横地慶太
電話番号	本部学務課 03-5275-8115 生物資源科学部教務課 0466-84-3811
(夜間)	本部学務課 03-5275-8115 生物資源科学部教務課 0466-84-3811
e-mail	本部学務課 gakumu@nihon-u.ac.jp 生物資源科学部教務課 brs.kyoumu@nihon-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、

該当番号を記載してください。

目次

生物資源科学部

<海洋生物学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教育研究実施組織の状況	25
6. 附帯事項等に対する履行状況等	52
7. その他全般的事項	53

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人日本大学

(2) 大学名

日本大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒252-0880

神奈川県藤沢市亀井野1866

(〒102-8275

東京都千代田区九段南四丁目8番24号)

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハヤシ マリコ) 林 真理子 (令和4年7月)		
学長	(サカイ タケオ) 酒井 健夫 (令和4年7月)	(オオヌキ シンイチロウ) 大貫 進一郎 (令和6年4月)	令和6年4月1日付け 学長就任による(6)
学部長	(マルヤマ ソウイチ) 丸山 総一 (令和3年12月)	(セキ タイイチロウ) 関 泰一郎 (令和6年4月)	令和6年4月1日付け 学部長就任による (6)
学科長等	(イトイ シロウ) 糸井 史朗 (令和5年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

(注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。

- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。

- ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
生物資源科学部 海洋生物学科 学士(生物資源学)	農学関係	4年	146人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	584人	-	【基礎となる学部等】 生物資源科学部海洋生物資源科学科

(注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	146 (-) [-]	- (-) [-]	146 (-) [-]	- (-) [-]	146 (-) [-]	- (-) [-]	-	1.06 倍	-	倍
志願者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	920 (-) [3]	- (-) [-]	865 (-) [6]	- (-) [-]	907 (-) [7]	- (-) [-]	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳			
受験者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	860 (-) [3]	- (-) [-]	805 (-) [6]	- (-) [-]	847 (-) [6]	- (-) [-]				
合格者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	266 (-) [0]	- (-) [-]	247 (-) [6]	- (-) [-]	205 (-) [1]	- (-) [-]				
B 入学者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	152 (-) [0]	- (-) [-]	162 (-) [0]	- (-) [-]	153 (-) [0]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	1.04	-	1.10	-	1.04	-				

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・転入学生は記入しないでください。
- ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
- ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	152	-	167	-	159	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(5)	(-)	(6)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	147	-	162	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(3)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	144	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	152	-	314	-	465	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(5)	(-)	(9)	(-)	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	152 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
令和6年度	314 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
令和7年度	465 人	1 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1名)
			令和7年度	0 人	0 人	
合計		1 人		1 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{152} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{314} = \boxed{0} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{1}{466} = \boxed{0.21} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<生物資源科学部 海洋生物学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通教育科目	自主創造の基礎	1前		2							1
	日本を考える	1後		2							1
	小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	1
言語系科目	英語ⅠA	1前	1								17
	英語ⅠB	1後	1								17
	英語ⅡA	1前	1								18
	英語ⅡB	1後	1								18
	英語ⅢA	2前	1								20
	英語ⅢB	2後	1								20
	英語ⅣA	2前	1								7
	英語ⅣB	2後	1								7
	初級ドイツ語文法A	1・2・3・4前		1							2
	初級ドイツ語文法B	1・2・3・4後		1							2
	初級ドイツ語講読A	1・2・3・4前		1							2
	初級ドイツ語講読B	1・2・3・4後		1							2
	初級ドイツ語会話A	1・2・3・4前		1							2
	初級ドイツ語会話B	1・2・3・4後		1							2
	中級ドイツ語講読A	1・2・3・4前		1							1
	中級ドイツ語講読B	1・2・3・4後		1							1
	検定ドイツ語A	1・2・3・4前		1							1
	検定ドイツ語B	1・2・3・4後		1							1
	初級フランス語文法A	1・2・3・4前		1							2
	初級フランス語文法B	1・2・3・4後		1							2
	初級フランス語会話A	1・2・3・4前		1							2
	初級フランス語会話B	1・2・3・4後		1							2
	初級スペイン語文法A	1・2・3・4前		1							2
	初級スペイン語文法B	1・2・3・4後		1							2
	初級スペイン語会話A	1・2・3・4前		1							2
	初級スペイン語会話B	1・2・3・4後		1							2
	初級中国語文法A	1・2・3・4前		1							2
	初級中国語文法B	1・2・3・4後		1							2
	初級中国語会話A	1・2・3・4前		1							1
	初級中国語会話B	1・2・3・4後		1							1
	中級中国語文法	1・2・3・4前		1							1
	中級中国語会話	1・2・3・4後		1							1
	初級韓国語文法A	1・2・3・4前		1							1
	初級韓国語文法B	1・2・3・4後		1							1
	初級韓国語会話A	1・2・3・4前		1							1
	初級韓国語会話B	1・2・3・4後		1							1
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前		1							1
	日本語Ⅱ	1・2・3・4前		1							1
小計(38科目)	—	—	8	30	0	0	0	0	0	0	44
人文・社会系科目	日本語表現の基礎	1・2・3・4前・後		2							3
	日本の文学	1・2・3・4前・後		2							3
	哲学入門	1・2・3・4前		2							1
	哲学の現在	1・2・3・4後		2							1
	倫理学入門	1・2・3・4前		2							1
	倫理学の現在	1・2・3・4後		2							1
	心理学入門	1・2・3・4前		2							2
	行動心理学	1・2・3・4後		2							1
	個性の心理学	1・2・3・4後		2							1
	文化人類学入門	1・2・3・4前		2							1
	環境の文化人類学	1・2・3・4後		2							1
	比較文化論	1・2・3・4前		2							1
	比較芸術論	1・2・3・4後		2							1
	法学入門	1・2・3・4前		2							1
	日本国憲法	1・2・3・4後		2							1
	社会学入門	1・2・3・4前		2							1
	政治学入門	1・2・3・4前		2							1
	政治と現代社会	1・2・3・4後		2							1
	経済学入門	1・2・3・4前		2							1
	経済と現代社会	1・2・3・4後		2							1
地理学入門	1・2・3・4前		2							1	
歴史学入門	1・2・3・4前		2							2	
社会学の現在	1・2・3・4後		2							1	

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					……
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通教育科目	自主創造の基礎	1前			2							14
	日本を考える	1前			2							12
	小計(2科目)	—		0	4	0	0	0	0	0	0	23
言語系科目	英語ⅠA	1前		1								25
	英語ⅠB	1後		1								25
	英語ⅡA	1前		1								24
	英語ⅡB	1後		1								24
	英語ⅢA	2前		1								26
	英語ⅢB	2後		1								26
	英語ⅣA	2前		1								14
	英語ⅣB	2後		1								14
	初級ドイツ語文法A	1・2・3・4前			1							2
	初級ドイツ語文法B	1・2・3・4後			1							2
	初級ドイツ語講読A	1・2・3・4前			1							2
	初級ドイツ語講読B	1・2・3・4後			1							2
	初級ドイツ語会話A	1・2・3・4前			1							2
	初級ドイツ語会話B	1・2・3・4後			1							2
	中級ドイツ語講読A	1・2・3・4前			1							1
	中級ドイツ語講読B	1・2・3・4後			1							1
	検定ドイツ語A	1・2・3・4前			1							1
	検定ドイツ語B	1・2・3・4後			1							1
	初級フランス語文法A	1・2・3・4前			1							2
	初級フランス語文法B	1・2・3・4後			1							2
	初級フランス語会話A	1・2・3・4前			1							2
	初級フランス語会話B	1・2・3・4後			1							2
	初級スペイン語文法A	1・2・3・4前			1							2
	初級スペイン語文法B	1・2・3・4後			1							2
	初級スペイン語会話A	1・2・3・4前			1							2
	初級スペイン語会話B	1・2・3・4後			1							2
	初級中国語文法A	1・2・3・4前			1							2
	初級中国語文法B	1・2・3・4後			1							2
	初級中国語会話A	1・2・3・4前			1							2
	初級中国語会話B	1・2・3・4後			1							2
	中級中国語文法	1・2・3・4前			1							1
	中級中国語会話	1・2・3・4後			1							1
	初級韓国語文法A	1・2・3・4前			1							2
	初級韓国語文法B	1・2・3・4後			1							2
	初級韓国語会話A	1・2・3・4前			1							2
	初級韓国語会話B	1・2・3・4後			1							2
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前			1							1
	日本語Ⅱ	1・2・3・4前			1							1
小計(38科目)	—	—		8	30	0	0	0	0	0	0	60
人文・社会系科目	日本語表現の基礎	1・2・3・4前・後			2							3
	日本の文学	1・2・3・4前・後			2							3
	哲学入門	1・2・3・4前			2							1
	哲学の現在	1・2・3・4後			2							1
	倫理学入門	1・2・3・4前			2							1
	倫理学の現在	1・2・3・4後			2							1
	心理学入門	1・2・3・4前			2							2
	行動心理学	1・2・3・4後			2							1
	個性の心理学	1・2・3・4後			2							1
	文化人類学入門	1・2・3・4前			2							1
	環境の文化人類学	1・2・3・4後			2							1
	比較文化論	1・2・3・4前			2							1
	比較芸術論	1・2・3・4後			2							1
	法学入門	1・2・3・4前			2							1
	日本国憲法	1・2・3・4後			2							1
	社会学入門	1・2・3・4前			2							1
	政治学入門	1・2・3・4前			2							1
	政治と現代社会	1・2・3・4後			2							1
	経済学入門	1・2・3・4前			2							1
	経済と現代社会	1・2・3・4後			2							1
地理学入門	1・2・3・4前			2							1	
歴史学入門	1・2・3・4前			2							2	
社会学の現在	1・2・3・4後			2							1	

現代社会と福祉	1・2・3・4前・後	2								1
世界の歴史	1・2・3・4後	2								1
日本の歴史	1・2・3・4後	2								1
地理学の現在	1・2・3・4後	2								1
小計(27科目)	—	0	54	0	0	0	0	0	0	16

現代社会と福祉	1・2・3・4前・後	2								1
世界の歴史	1・2・3・4後	2								1
日本の歴史	1・2・3・4後	2								1
地理学の現在	1・2・3・4後	2								1
小計(27科目)	—	0	54	0	0	0	0	0	0	16

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
自然系科目	物理学入門	1・2・3・4前	2								2
	基礎力学	1・2・3・4後	2								2
	基礎化学	1・2・3・4前・後	2								5
	基礎生物学	1・2・3・4前	2								5
	基礎地球科学	1・2・3・4前	2								2
	統計学入門	1・2・3・4前・後	2								4
	推計学入門	1・2・3・4後	2								2
	解析学	1・2・3・4後	2								4
	線形代数	1・2・3・4前	2								4
	物理学演習	1・2・3・4後	1								1
	総合生物学	1・2・3・4後	2								5
	総合化学	1・2・3・4後	2								3
	総合地球科学	1・2・3・4後	2								2
小計(13科目)	—	0	25	0	0	0	0	0	0	21	
健康・スポーツ系科目	スポーツ実技Ⅰ	1前・後	1								9
	スポーツ実技Ⅱ	1・2・3・4前・後	1								9
	スポーツ実技Ⅲ	1・2・3・4前	1								2
	スポーツ実技Ⅳ	1・2・3・4後	1								1
	スポーツ科学	1・2・3・4前・後	2								4
小計(5科目)	—	1	5	0	0	0	0	0	0	9	
総合系科目	データサイエンスの基礎	1・2・3・4前・後	2								3
	情報科学	1・2・3・4前・後	2								4
	科学史	1・2・3・4前	2								1
	科学技術と社会	1・2・3・4後	2								1
	地球環境を考える	1・2・3・4前・後	2								4
	生命倫理	1・2・3・4前	2								1
	ボランティア論	1・2・3・4前	1								1
小計(7科目)	—	0	13	0	0	0	0	0	0	12	
基礎専門科目	海外フィールド実習	1・2・3・4前・後	1								1
	小計(1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	1
専門共通系科目	海洋生物学概論	1前	2			5	2		2		
	海洋基礎実習Ⅰ	1前	1			4	2	1	1		
	海洋基礎実習Ⅱ	1後	1			2	3		1		
	水族館論	1前	2			2	3	1			
	海洋生物展示学	1後	2			6	5	1	2		
	海洋基礎生物	1前	2								1
	海洋基礎化学	1前	2				1				
	海洋基礎物理	1前	2								1
	小型船舶操縦法実習	2前	1				1	1			
	海洋生物展示学実習	2前	1			6	5	1	2		
	海洋生物学演習Ⅰ	3前	1				4	1	2		
	海洋生物学演習Ⅱ	3後	1			6	1				
	海洋生物学実習Ⅰ	3前	1				4	1	2		
	海洋生物学実習Ⅱ	3後	1			6	1				
	海洋特別講義	3前	2			1					
	水産経済学	3後	2								1
	バイオインフォマティクス論	3後	2				1				
	水族統計学	3前	2								1
	学外研修	3後	1			6	5	1	2		
	海洋生物学研究Ⅰ	4前	3			6	5	1	2		
	海洋生物学研究Ⅱ	4後	3			6	5	1	2		
小計(21科目)	—	14	21	0	6	5	1	2	0	4	
生命科学系科目	魚類学	1前	2			1					
	無脊椎動物学	1後	2					1			
	海生ほ乳類学	1前	2			1					
	軟骨魚類学	1後	2				1				
	生化学	2前	2			1					
	生物機能化学実験	2前	1			1	1				
	水族生理学	2前	2			1					
	細胞組織学	2前	2				1				
	生物機能化学	2後	2				1				
	水族生理学実験	2後	1			1	2				
	水族免疫学	2後	2						1		
	栄養生理学	3前	2			1					
小計(12科目)	—	6	16	0	3	3	1	1	0	0	
増養殖学	1後	2				1					
魚病学	2前	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要科目	単位数			基幹教員等の配置					……
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
自然系科目	物理学入門	1・2・3・4前		2								2
	基礎力学	1・2・3・4後		2								2
	基礎化学	1・2・3・4前・後		2								6
	基礎生物学	1・2・3・4前		2								6
	基礎地球科学	1・2・3・4前		2								1
	統計学入門	1・2・3・4前・後		2								3
	推計学入門	1・2・3・4後		2								2
	解析学	1・2・3・4後		2								3
	線形代数	1・2・3・4前		2								3
	物理学演習	1・2・3・4後		1								1
	総合生物学	1・2・3・4後		2								8
	総合化学	1・2・3・4後		2								4
	総合地球科学	1・2・3・4後		2								1
小計(13科目)	—	0	0	25	0	0	0	0	0	0	23	
健康・スポーツ系科目	スポーツ実技Ⅰ	1前		1								7
	スポーツ実技Ⅱ	1・2・3・4前・後		1								7
	スポーツ実技Ⅲ	1・2・3・4前		1								2
	スポーツ実技Ⅳ	1・2・3・4後		1								2
	スポーツ科学	1・2・3・4前・後		2								3
小計(5科目)	—	1	1	5	0	0	0	0	0	0	7	
総合系科目	データサイエンスの基礎	1・2・3・4前・後		2								2
	データサイエンスの世界	1・2・3・4前・後		2								9
	情報科学	1・2・3・4前・後		2								3
	科学史	1・2・3・4前		2								1
	科学技術と社会	1・2・3・4後		2								1
	地球環境を考える	1・2・3・4前・後		2								4
	生命倫理	1・2・3・4前		2								1
ボランティア論	1・2・3・4前		1								1	
小計(8科目)	—	0	0	15	0	0	0	0	0	0	19	
基礎専門科目	海外フィールド実習	1・2・3・4前・後		1								1
	小計(1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
専門共通系科目	海洋生物学概論	1前	○	2			7	5	3	0		1
	海洋基礎実習Ⅰ	1前	○	1			7	5	3	0		1
	海洋基礎実習Ⅱ	1後	○	1			7	5	3	0		1
	水族館論	1前		2			7	5	3	0		1
	海洋生物展示学	1後		2			0	0	1	0		2
	海洋基礎生物	1前		2								1
	海洋基礎化学	1前		2				0				1
	海洋基礎物理	1前		2								1
	小型船舶操縦法実習	2前		1			2	1	0			
	海洋生物展示学実習	2通		1			7	5	3	0		
	海洋生物学演習Ⅰ	3前	○	1			7	5	3	0		1
	海洋生物学演習Ⅱ	3後	○	1			7	5	3			1
	海洋生物学実習Ⅰ	3前	○	1			7	5	3	0		1
	海洋生物学実習Ⅱ	3後	○	1			7	5	3			1
	海洋特別講義	3前		2			7	5	3			1
	水産経済学	3通		2								1
	バイオインフォマティクス論	3後		2				0				1
	水族統計学	3通		2								1
	学外研修	3後		1			7	5	3	0		
	海洋生物学研究Ⅰ	4前	○	3			6	5	2	0		
	海洋生物学研究Ⅱ	4後	○	3			6	5	2	0		
小計(21科目)	—	14	21	0	7	5	3	0	0	0	9	
生命科学系科目	魚類学	1前	○	2			1					
	無脊椎動物学	1後	○	2					0			1
	海生ほ乳類学	1前		2			1					
	軟骨魚類学	1後		2				1				
	生化学	2前	○	2			1					
	生物機能化学実験	2前	○	1			1	1				
	水族生理学	2前		2			1					
	細胞組織学	2前		2				1				
	生物機能化学	2後		2				1				
	水族生理学実験	2後	○	1			1	2				
	水族免疫学	2後		2					1	0		
	栄養生理学	3前		2			1					
小計(12科目)	—	6	16	0	3	3	1	0	0	0	1	
増養殖学	1後	○	2				1					
魚病学	2前		2				1					

生産科学系科目	水族発生学	2前	2							1		
	漁業生産システム学実験	2前	1			1						
	漁業生産システム学	2前	2							1		
	魚病学実験	2後	1			1		1				
	行動生態学	2後	2			1						
	水産資源学	2後	2		1							
	水族環境学	3前	2					1				
	魚類繁殖行動学	3前	2			1						
	魚群行動学	3後	2							1		
	遺伝育種学	3前	2			1						
	小計(12科目)	—	—	2	20	0	1	3	0	1	0	2

生産科学系科目	水族発生学	2前	2								1	
	漁業生産システム学実験	2前	○	1			1					
	漁業生産システム学	2前	○	2							0	
	魚病学実験	2後	○	1			1	1	0			
	行動生態学	2後		2			1					
	水産資源学	2後		2		0					1	
	水族環境学	3前		2					1	0		
	魚類繁殖行動学	3前		2			1					
	魚群行動学	3後		2							0	
	遺伝育種学	3前		2			1					
	小計(12科目)	—	—	2	20	0	1	3	1	0	0	2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
利用科学系科目	水産利用学	2前	2								1	
	水産利用学実験	2前		1		1						
	食品衛生学実験	2後		1		1			1			
	水産食品化学	2後		2		1						
	生物有機化学	2後		2					1			
	海洋微生物学	2後		2			1					
	食品微生物学	3前		2		1						
	分析化学	3前		2			1					
	食品加工学	3前		2							1	
	ケミカルバイオロジー	3前		2					1			
	食品衛生学	3後		2		1						
	小計(11科目)	—	—	2	18	0	2	2	0	1	0	1
	環境科学系科目	海洋環境学	1前	2			1					
		プランクトン学	1後		2		1					1
藻類学		1後		2								
海洋環境学実験		2前		1		1		1				
深海生物学		2前		2				1				
底生生物学		2前		2							1	
マリントキシン		2前		2		1						
水族生態学実験		2後		1		1						
水族生態学		2前		2		1						
海洋環境化学		3前		2							1	
小計(10科目)	—	—	2	16	0	3	0	1	0	0	3	
広域基礎科目	生物資源科学概論	1前		2		1					6	
	生物学概論Ⅰ	1前		2							1	
	生物学概論Ⅱ	1後		2							1	
	物理学概論Ⅰ	2前		2							1	
	物理学概論Ⅱ	2後		2							1	
	化学概論Ⅰ	2前		2							1	
	化学概論Ⅱ	2後		2							1	
	生物学実験	2後		2							1	
	職業指導	3通		4							1	
	化学実験	3後		2							2	
	物理学実験	4前		2							1	
	地学概論Ⅰ	4前		2							1	
	地学概論Ⅱ	4後		2							1	
	地学実験	4後		2							1	
小計(14科目)	—	—	0	30	0	1	0	0	0	0	14	
合計(173科目)	—	—	35	253	0	6	5	1	2	0	111	

卒業要件及び履修方法

教養教育科目の必修科目9単位、全学共通教育科目及び教養教育科目の選択科目から21単位、専門教育科目の必修科目26単位、基礎専門科目及び専門教育科目の選択科目から68単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))
 なお、専門教育科目の選択科目のうち、「生物機能化学実験」、「水族生理学実験」、「漁業生産システム学実験」、「魚病学実験」、「水産利用学実験」、「食品衛生学実験」、「海洋環境学実験」、「水族生態学実験」より4科目以上を修得すること。
 ※言語系科目のうち、外国人留学生は母語を履修することはできない。
 ※日本語Ⅰ、日本語Ⅱは外国人留学生のみ履修できる。
 ※英語を母語とする外国人留学生は、言語系科目の英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡB、英語ⅢA、英語ⅢB、英語ⅣA、英語ⅣBを除いた科目から8単位以上を修得しなければならない。
 ※許可を得て他学科設置の専門教育科目を修得した者については、20単位を超えない範囲で専門教育科目の選択科目を修得したものとみなす。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
利用科学系科目	水産利用学	2前	○	2								1
	水産利用学実験	2前	○		1		1					1
	食品衛生学実験	2後	○		1		1		1	0		
	水産食品化学	2後			2		1					
	生物有機化学	2後			2				1	0		
	海洋微生物学	2後			2			1				
	食品微生物学	3前			2		1					
	分析化学	3前			2			1				
	食品加工学	3前			2							1
	ケミカルバイオロジー	3前			2					1	0	
	食品衛生学	3後			2		1					
小計(11科目)	—	—	—	2	18	0	2	2	1	0	0	1
環境科学系科目	海洋環境学	1前	○	2			1					
	プランクトン学	1後			2		1					
	藻類学	1後			2							1
	海洋環境学実験	2前	○		1		1		0			
	深海生物学	2後			2				0			1
	底生生物学	2前			2				1			0
	マリントキシン	2前			2		1					
	水族生態学実験	2後	○		1		1		1			
	水族生態学	2前			2		1					
	海洋環境化学	3前			2							3
小計(10科目)	—	—	—	2	16	0	3	0	2	0	0	5
広域基礎科目	生物資源科学概論	1前			2		1					6
	生物学概論Ⅰ	1後			2							1
	生物学概論Ⅱ	2前			2							1
	物理学概論Ⅰ	2前			2							1
	物理学概論Ⅱ	2後			2							1
	化学概論Ⅰ	2前			2							1
	化学概論Ⅱ	2後			2							1
	生物学実験	2後			2							1
	職業指導	3通			4							1
	化学実験	3後			2							3
	物理学実験	3前			2							2
	地学概論Ⅰ	3前			2							1
	地学概論Ⅱ	3後			2							1
	地学実験	3後			2							1
小計(14科目)	—	—	—	0	30	0	1	0	0	0	0	14
合計(174科目)	—	—	—	35	255	0	7	5	3	0	0	150

卒業要件及び履修方法

教養教育科目の必修科目9単位、全学共通教育科目及び教養教育科目の選択科目から21単位、専門教育科目の必修科目26単位、基礎専門科目及び専門教育科目の選択科目から68単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))
 なお、専門教育科目の選択科目のうち、「生物機能化学実験」、「水族生理学実験」、「漁業生産システム学実験」、「魚病学実験」、「水産利用学実験」、「食品衛生学実験」、「海洋環境学実験」、「水族生態学実験」より4科目以上を修得すること。
 ※言語系科目のうち、外国人留学生は母語を履修することはできない。
 ※日本語Ⅰ、日本語Ⅱは外国人留学生のみ履修できる。
 ※英語を母語とする外国人留学生は、言語系科目の英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡB、英語ⅢA、英語ⅢB、英語ⅣA、英語ⅣBを除いた科目から8単位以上を修得しなければならない。
 ※許可を得て他学科設置の専門教育科目を修得した者については、20単位を超えない範囲で専門教育科目の選択科目を修得したものとみなす。

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通教育科目	自主創造の基礎	1前		2							10
	日本を考える	1後		2							10

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通教育科目	自主創造の基礎	1前		2							5
	日本を考える	1後		2							10

科目区分	授業科目の名称	配当年次	履修状況								・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	利用科学系科目	水産利用学	2前	2								1
		水産利用学実験	2前		1		1					
		食品衛生学実験	2後		1		1		1	0		
		水産食品化学	2後		2		1					
		生物有機化学	2後		2			1		0		
		海洋微生物学	2後		2			1				
		食品微生物学	3前		2		1					
		分析化学	3前		2			1				
		食品加工学	3前		2							1
		ケミカルバイオロジー	3前		2				1	0		
		食品衛生学	3後		2		1					
	小計(11科目)	—	2	18	0	2	2	1	0	0	1	
	環境科学系科目	海洋環境学	1前	2			1					
		プランクトン学	1後		2		1					1
藻類学		1後		2								
海洋環境学実験		2前		1		1		1				
深海生物学		2前		2				1				
底生物学		2前		2				1			0	
マリントキシン		2前		2		1						
水族生態学実験		2後		1		1		1				
水族生態学		2前		2		1						
海洋環境化学		3前		2							1	
小計(10科目)	—	2	16	0	3	0	2	0	0	2		
広域基礎科目	生物資源科学概論	1前		2		1					6	
	生物学概論Ⅰ	1前		2							1	
	生物学概論Ⅱ	1後		2							1	
	物理学概論Ⅰ	2前		2							1	
	物理学概論Ⅱ	2後		2							1	
	化学概論Ⅰ	2前		2							1	
	化学概論Ⅱ	2後		2							1	
	生物学実験	2後		2							1	
	職業指導	3通		4							1	
	化学実験	3後		2							2	
	物理学実験	4前		2							1	
	地学概論Ⅰ	4前		2							1	
	地学概論Ⅱ	4後		2							1	
	地学実験	4後		2							1	
小計(14科目)	—	0	30	0	1	0	0	0	0	14		
合計(173科目)	—	35	253	0	7	5	3	1	0	133		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	履修状況								・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	利用科学系科目	水産利用学	2前	2								1
		水産利用学実験	2前		1		1					
		食品衛生学実験	2後		1		1		1	0		
		水産食品化学	2後		2		1					
		生物有機化学	2後		2			1		0		
		海洋微生物学	2後		2			1				
		食品微生物学	3前		2		1					
		分析化学	3前		2			1				
		食品加工学	3前		2							1
		ケミカルバイオロジー	3前		2				1	0		
		食品衛生学	3後		2		1					
	小計(11科目)	—	2	18	0	2	2	1	0	0	1	
	環境科学系科目	海洋環境学	1前	2			1					
		プランクトン学	1後		2		1					1
藻類学		1後		2								
海洋環境学実験		2前		1		1		1				
深海生物学		2前		2				1				
底生物学		2前		2				1			1	
マリントキシン		2前		2		1						
水族生態学実験		2後		1		1		1				
水族生態学		2前		2		1						
海洋環境化学		3前		2							1	
小計(10科目)	—	2	16	0	3	0	1	0	0	3		
広域基礎科目	生物資源科学概論	1前		2		1					6	
	生物学概論Ⅰ	1前		2							1	
	生物学概論Ⅱ	1後		2							1	
	物理学概論Ⅰ	2前		2							1	
	物理学概論Ⅱ	2後		2							1	
	化学概論Ⅰ	2前		2							1	
	化学概論Ⅱ	2後		2							1	
	生物学実験	2後		2							1	
	職業指導	3通		4							1	
	化学実験	3後		2							2	
	物理学実験	4前		2							1	
	地学概論Ⅰ	4前		2							1	
	地学概論Ⅱ	4後		2							1	
	地学実験	4後		2							1	
小計(14科目)	—	0	30	0	1	0	0	0	0	14		
合計(173科目)	—	35	253	0	7	5	3	1	0	120		

卒業要件及び履修方法

教養教育科目の必修科目9単位、全学共通教育科目及び教養教育科目の選択科目から21単位、専門教育科目の必修科目26単位、基礎専門科目及び専門教育科目の選択科目から68単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))
なお、専門教育科目の選択科目のうち、「生物機能化学実験」、「水族生理学実験」、「漁業生産システム学実験」、「魚病学実験」、「水産利用学実験」、「食品衛生学実験」、「海洋環境学実験」、「水族生態学実験」より4科目以上を修得すること。
※言語系科目のうち、外国人留学生は母語を履修することはできない。
※日本語Ⅰ、日本語Ⅱは外国人留学生のみ履修できる。
※英語を母語とする外国人留学生は、言語系科目の英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡB、英語ⅢA、英語ⅢB、英語ⅣA、英語ⅣBを除いた科目から8単位以上を修得しなければならない。
※許可を得て他学科設置の専門教育科目を修得した者については、20単位を超えない範囲で専門教育科目の選択科目を修得したものとみなす。

卒業要件及び履修方法

教養教育科目の必修科目9単位、全学共通教育科目及び教養教育科目の選択科目から21単位、専門教育科目の必修科目26単位、基礎専門科目及び専門教育科目の選択科目から68単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))
なお、専門教育科目の選択科目のうち、「生物機能化学実験」、「水族生理学実験」、「漁業生産システム学実験」、「魚病学実験」、「水産利用学実験」、「食品衛生学実験」、「海洋環境学実験」、「水族生態学実験」より4科目以上を修得すること。
※言語系科目のうち、外国人留学生は母語を履修することはできない。
※日本語Ⅰ、日本語Ⅱは外国人留学生のみ履修できる。
※英語を母語とする外国人留学生は、言語系科目の英語ⅠA、英語ⅠB、英語ⅡA、英語ⅡB、英語ⅢA、英語ⅢB、英語ⅣA、英語ⅣBを除いた科目から8単位以上を修得しなければならない。
※許可を得て他学科設置の専門教育科目を修得した者については、20単位を超えない範囲で専門教育科目の選択科目を修得したものとみなす。

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、**「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。**その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**赤字**としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字とする必要はありません。)
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。

その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。

新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。

（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和7年度】（新）→【令和6年度】（新）→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度】（旧）→【令和6年度】（旧）

（1）－②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・届出時は完成年度の「専任教員等の配置」を記載したことにより、令和5年度現在の教員配置状況に変更し、完成年度前に定年を迎え兼任講師となる予定の教授1名を教授として配置。
「海洋基礎実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に、「海洋生物展示学」、「海洋生物展示学実習」、「海洋生物学演習Ⅱ」、「海洋生物学実習Ⅱ」、「学外研修」を「教授6」から「教授7」に、「小型船舶操縦法実習」、「漁業生産システム学実験」を「教授0」から「教授1」に変更。
「海洋基礎物理」、「漁業生産システム学」、「魚群行動学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「自主創造の基礎」の兼任・兼担の配置を「1」から「5」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「日本を考える」の兼任・兼担の配置を「1」から「10」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「英語ⅠA」「英語ⅠB」の兼任・兼担の配置を「17」から「22」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「英語ⅡA」「英語ⅡB」の兼任・兼担の配置を「18」から「21」に変更。
- ・兼任教員の就任辞任により、「英語ⅢA」「英語ⅢB」の兼任・兼担の配置を「20」から「19」に変更。
- ・兼任教員の就任辞任により、「基礎地球科学」の兼任・兼担の配置を「2」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「解析学」を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「線形代数」を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「線形代数」の兼任・兼担の配置を「4」から「3」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「総合生物学」の兼任・兼担の配置を「5」から「4」に変更。
- ・兼任教員の就任辞任により、「総合地球科学」の兼任・兼担の配置を「2」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「スポーツ実技Ⅰ」を「1前・後」から「1前」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「スポーツ実技Ⅱ」を「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「データサイエンスの基礎」の兼任・兼担の配置を「3」から「2」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「地球環境を考える」の兼任・兼担の配置を「4」から「3」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「生命倫理」を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・専任教員の昇格の理由により、「海洋生物学概論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の昇格の理由により、「海洋基礎実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増、専任教員の就任および昇格の理由により、「海洋基礎実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授7」、「准教授3」から「准教授5」、「講師0」から「講師3」、兼任・兼担の配置を「0」から「2」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増、専任教員の就任および昇格の理由により、「水族館論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授7」、「准教授3」から「准教授5」、「講師1」から「講師3」、「助教0」から「助教1」、兼任・兼担の配置を「0」から「2」に変更。なお、届出時は完成年度の「専任教員等の配置」を記載したことにより、完成年度前に定年を迎え兼任講師となる予定の教授1名を教授として配置変更を含む。
- ・専任教員の昇格の理由により、「海洋生物展示学」「海洋生物展示学実習」「海洋生物学演習Ⅰ」「海洋生物学実習Ⅰ」「学外研修」「海洋生物学研究Ⅰ」「海洋生物学研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の昇格の理由により、「食品衛生学実験」「生物有機化学」「ケミカルバイオロジー」の専任教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。

【令和6年度】

- ・届出時は完成年度の「専任教員等の配置」を記載したことにより、令和6年度現在の教員配置状況に変更し、完成年度前に定年を迎え兼任講師となる予定の教授1名を教授として配置。
「海洋生物展示学実習」、「海洋生物学演習Ⅱ」、「海洋生物学実習Ⅱ」、「学外研修」を「教授6」から「教授7」に、「漁業生産システム学実験」を「教授0」から「教授1」に変更。
「漁業生産システム学」、「魚群行動学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「自主創造の基礎」の兼任・兼担の配置を「1」から「10」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「日本を考える」の兼任・兼担の配置を「1」から「10」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「英語ⅠA」「英語ⅠB」の兼任・兼担の配置を「17」から「21」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「英語ⅡA」「英語ⅡB」の兼任・兼担の配置を「18」から「23」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「英語ⅣA」「英語ⅣB」の兼任・兼担の配置を「7」から「13」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「基礎化学」の兼任・兼担の配置を「5」から「6」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「基礎生物学」の兼任・兼担の配置を「5」から「6」に変更。
- ・兼任教員の就任辞任により、「基礎地球科学」の兼任・兼担の配置を「2」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「統計学入門」の兼任・兼担の配置を「4」から「5」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「解析学」を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「線形代数」を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「線形代数」の兼任・兼担の配置を「4」から「3」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「総合生物学」の兼任・兼担の配置を「5」から「7」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「総合化学」の兼任・兼担の配置を「3」から「4」に変更。
- ・兼任教員の就任辞任により、「総合地球科学」の兼任・兼担の配置を「2」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「スポーツ実技Ⅰ」を「1前・後」から「1前」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「スポーツ実技Ⅱ」を「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・兼任教員の就任辞任により、「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」の兼任・兼担の配置を「9」から「8」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「スポーツ実技Ⅳ」の兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「データサイエンスの基礎」の兼任・兼担の配置を「3」から「2」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「情報科学」の兼任・兼担の配置を「4」から「3」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「生命倫理」を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および専任教員の昇格の理由により、「海洋生物学概論」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授7」、「准教授2」から「准教授5」、「講師0」から「講師3」、「助教2」から「助教1」、兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および専任教員の昇格の理由により、「海洋基礎実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授7」、「准教授2」から「准教授5」、「講師1」から「講師3」、兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。なお、届出時は完成年度の「専任教員等の配置」を記載したことにより、完成年度前に定年を迎え兼任講師となる予定の教授1名を教授として配置変更を含む。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直し、専任教員の就任および昇格の理由により、「海洋基礎実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授7」、「准教授3」から「准教授5」、「講師0」から「講師3」、兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。

- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直し、専任教員の就任および昇格の理由により、「水族館論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授7」、「准教授3」から「准教授5」、「講師1」から「講師3」、「助教0」から「助教1」に変更。なお、届出時は完成年度の「専任教員等の配置」を記載したことにより、完成年度前に定年を迎え兼任講師となる予定の教授1名を教授として配置変更を含む。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しおよび専任教員の昇格の理由により、「海洋生物展示学」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授0」、「准教授5」から「准教授0」、「助教2」から「助教0」、兼任・兼担の配置を「0」から「2」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「海洋基礎生物」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、兼任・兼担の配置を「1」から「0」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「海洋基礎化学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「小型船舶操縦法実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」に変更。なお、届出時は完成年度の「専任教員等の配置」を記載したことにより、完成年度前に定年を迎え兼任講師となる予定の教授1名を教授として配置変更を含む。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および専任教員の昇格の理由により、「海洋生物展示学実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師3」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の昇格の理由により、「海洋生物学演習Ⅰ」「海洋生物学実習Ⅰ」「学外研修」「海洋生物学研究Ⅰ」「海洋生物学研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「無脊椎動物学」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「水産資源学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員の昇格の理由により、「食品衛生学実験」「生物有機化学」「ケミカルバイオロジー」の専任教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「底生生物学」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、兼任・兼担の配置を「1」から「0」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「水族生態学実験」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。

【令和7年度】

- ・届出時は完成年度の「専任教員等の配置」を記載したことにより、令和7年度現在の教員配置状況に変更し、完成年度前に定年を迎え兼任講師となる予定の教授1名を教授として配置。
「漁業生産システム学実験」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
「漁業生産システム学」「魚群行動学」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授1」、基幹教員以外の教員配置を「1」から「0」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「自主創造の基礎」の基幹教員以外の教員配置を「1」から「14」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「日本を考える」を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「日本を考える」の基幹教員以外の教員配置を「1」から「12」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「英語ⅠA」「英語ⅠB」の基幹教員以外の教員配置を「17」から「25」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「英語ⅡA」「英語ⅡB」の基幹教員以外の教員配置を「18」から「24」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「英語ⅢA」「英語ⅢB」の基幹教員以外の教員配置を「20」から「26」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「英語ⅣA」「英語ⅣB」の基幹教員以外の教員配置を「7」から「14」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「初級中国語会話A」「初級中国語会話B」「初級韓国語文法A」「初級韓国語文法B」「初級韓国語会話A」「初級韓国語会話B」の基幹教員以外の教員配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「基礎化学」の基幹教員以外の教員配置を「5」から「6」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「基礎生物学」の基幹教員以外の教員配置を「5」から「6」に変更。
- ・兼任教員の就任辞任により、「基礎地球科学」の基幹教員以外の教員配置を「2」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「統計学入門」の基幹教員以外の教員配置を「4」から「3」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「解析学」を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「解析学」の基幹教員以外の教員配置を「4」から「3」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「線形代数」を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「線形代数」の基幹教員以外の教員配置を「4」から「3」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「総合生物学」の基幹教員以外の教員配置を「5」から「8」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「総合化学」の基幹教員以外の教員配置を「3」から「4」に変更。
- ・兼任教員の就任辞任により、「総合地球科学」の基幹教員以外の教員配置を「2」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「スポーツ実技Ⅰ」を「1前・後」から「1前」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「スポーツ実技Ⅱ」を「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直し等の理由により、「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」の基幹教員以外の教員配置を「9」から「7」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「スポーツ実技Ⅳ」の基幹教員以外の教員配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「スポーツ科学」の基幹教員以外の教員配置を「4」から「3」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「データサイエンスの基礎」の基幹教員以外の教員配置を「3」から「2」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため新規科目増の理由により、科目「データサイエンスの世界」の配当年次「1・2・3・4前」、単位「選択2単位」、基幹教員以外の教員配置「9」を配置。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「情報科学」の基幹教員以外の教員配置を「4」から「3」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「生命倫理」を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および基幹教員の昇格、辞任の理由により、「海洋生物学概論」の基幹教員等の配置を「教授5」から「教授7」、「准教授2」から「准教授5」、「講師0」から「講師3」、「助教2」から「助教0」、基幹教員以外の教員配置を「0」から「1」に変更。。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および基幹教員の昇格、辞任の理由により、「海洋基礎実習Ⅰ」の基幹教員等の配置を「教授4」から「教授7」、「准教授2」から「准教授5」、「講師1」から「講師3」、「助教1」から「助教0」、基幹教員以外の教員配置を「0」から「1」に変更。なお、届出時は完成年度の「基幹教員等の配置」を記載したことにより、完成年度前に定年を迎え兼任講師となる予定の教授1名を教授として配置変更を含む。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直し、基幹教員の就任および昇格、辞任の理由により、「海洋基礎実習Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授2」から「教授7」、「准教授3」から「准教授5」、「講師0」から「講師3」、「助教1」から「助教0」、基幹教員以外の教員配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直し、基幹教員の就任および昇格、辞任の理由により、「水族館論」の基幹教員等の配置を「教授2」から「教授7」、「准教授3」から「准教授5」、「講師1」から「講師3」、基幹教員以外の教員配置を「0」から「1」に変更。なお、届出時は完成年度の「専任教員等の配置」を記載したことにより、完成年度前に定年を迎え兼任講師となる予定の教授1名を教授として配置変更を含む。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しおよび基幹教員の昇格の理由により、「海洋生物展示学」の基幹教員等の配置を「教授6」から「教授0」、「准教授5」から「准教授0」、「助教2」から「助教0」、基幹教員以外の教員配置を「0」から「2」に変更。

- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「海洋基礎化学」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、基幹教員以外の教員配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しおよび基幹教員の辞任の理由により、「小型船舶操縦法実習」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授2」、「講師1」から「講師0」に変更。なお、届出時は完成年度の「専任教員等の配置」を記載したことにより、完成年度前に定年を迎え兼任講師となる予定の教授1名を教授として配置変更を含む。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「海洋生物展示学実習」を「2前」から「2通」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および基幹教員の昇格、辞任の理由により、「海洋生物展示学実習」の基幹教員等の配置を「教授6」から「教授7」、「講師1」から「講師3」、「助教2」から「助教0」に変更。なお、届出時は完成年度の「専任教員等の配置」を記載したことにより、完成年度前に定年を迎え兼任講師となる予定の教授1名を教授として配置変更を含む。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および基幹教員の昇格、辞任の理由により、「海洋生物学演習Ⅰ」「海洋生物学実習Ⅰ」の基幹教員等の配置を「教授0」から「教授7」、「准教授4」から「准教授5」、「講師1」から「講師3」、「助教2」から「助教0」、基幹教員以外の教員配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および基幹教員の昇格、辞任の理由により、「海洋生物学演習Ⅱ」「海洋生物学実習Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授6」から「教授7」、「准教授1」から「准教授5」、「講師0」から「講師3」、基幹教員以外の教員配置を「0」から「1」に変更。なお、届出時は完成年度の「専任教員等の配置」を記載したことにより、完成年度前に定年を迎え兼任講師となる予定の教授1名を教授として配置変更を含む。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「海洋特別講義」の「教授1」から「教授7」、「准教授0」から「准教授5」、「講師0」から「講師3」、基幹教員以外の教員配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「水産経済学」を「3後」から「3通」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「バイオインフォマティクス論」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、基幹教員以外の教員配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「水族統計学」を「3前」から「3通」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および基幹教員の昇格、辞任の理由により、「学外研修」の基幹教員等の配置を「教授6」から「教授7」、「講師1」から「講師3」、「助教2」から「助教0」に変更。なお、届出時は完成年度の「専任教員等の配置」を記載したことにより、完成年度前に定年を迎え兼任講師となる予定の教授1名を教授として配置変更を含む。
- ・基幹教員の昇格、辞任の理由により、「海洋生物学研究Ⅰ」「海洋生物学研究Ⅱ」の基幹教員等の配置を「講師1」から「講師2」、「助教2」から「助教0」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「無脊椎動物学」の基幹教員等の配置を「講師1」から「講師0」、基幹教員以外の教員配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「水族生理学実験」を「2後」から「2通」に変更。
- ・基幹教員の昇格の理由により、「水族免疫学」「魚病学実験」「水族環境学」の基幹教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「魚病学実験」「水産資源学」を「2後」から「2通」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「水産資源学」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」、基幹教員以外の教員配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「水産利用学実験」の基幹教員以外の教員配置を「0」から「1」に変更。
- ・基幹教員の昇格の理由により、「食品衛生学実験」「生物有機化学」「ケミカルバイオロジー」の基幹教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しおよび基幹教員の辞任の理由により、「海洋環境学実験」の基幹教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「深海生物学」を「2前」から「2後」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しおよび基幹教員の辞任の理由により、「深海生物学」の基幹教員等の配置を「講師1」から「講師0」、基幹教員以外の教員配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、「底生生物学」の基幹教員等の配置を「講師0」から「講師1」、基幹教員以外の教員配置を「1」から「0」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「水族生態学実験」の基幹教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「海洋環境化学」の基幹教員以外の教員配置を「1」から「3」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「生物学概論Ⅰ」を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「生物学概論Ⅱ」を「1後」から「2前」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「化学実験」の基幹教員以外の教員配置を「2」から「3」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「物理学実験」「地学概論Ⅰ」を「4前」から「3前」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、「物理学実験」の基幹教員以外の教員配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため科目の開講時期の見直しの理由により、「地学概論Ⅱ」「地学実験」を「4後」から「3後」に変更。

- (注)・ 2(1)-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
24 科目	149 科目	0 科目	173 科目	24 科目 [0]	150 科目 [1]	0 科目 [0]	174 科目 [1]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{173} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	共用 日本大学短期大学部			
	校舎敷地	1,124,221.97㎡ 1,114,269.86㎡ 1,110,266.86㎡ 1,109,823.38㎡	200,493.00㎡ 208,860.07㎡ 200,072.62㎡ 204,483.52㎡	4,214.59㎡ 4,170.15㎡ 7,462.70㎡	1,328,929.56㎡ 1,327,344.52㎡ 1,323,509.63㎡ 1,321,769.60㎡	日本大学医学部 附属看護専門学校 (収容定員240人) (面積基準860㎡) 日本大学歯学部附属 歯科理工専門学校 (収容定員105人) (面積基準455㎡) 日本大学歯学部附属 歯科衛生専門学校 (収容定員120人) (面積基準500㎡) 日本大学松戸歯学部 附属歯科衛生専門 学校 (収容定員120人) (面積基準500㎡) 日本大学櫻丘高等 学校 (収容定員1,806人) 日本大学三島高等 学校 (収容定員2,040人)			
	その他	81,158.02㎡ 78,395.33㎡ 77,910.33㎡	13,821.25㎡ 16,583.94㎡ 16,474.77㎡ 17,747.37㎡	448.90㎡ 389.96㎡ 0㎡	95,428.17㎡ 95,260.06㎡ 95,667.70㎡				
合計	1,205,379.99㎡ 2,030,907.25㎡ 2,026,904.25㎡ 2,075,395.04㎡	214,314.25㎡ 363,077.20㎡ 363,180.58㎡ 303,623.02㎡	4,663.49㎡ 7,129.18㎡ 7,025.80㎡ 20,893.14㎡	1,424,357.73㎡ 2,401,113.63㎡ 2,397,110.63㎡ 2,399,911.20㎡	各学部における校舎の新築・ 改築等及び専用・共用区分の 見直しのため(5) 各学部における校舎の新築・ 改築等及び専用・共用区分の 見直しのため(6) 各学部における校舎の新築・ 改築等及び専用・共用区分の 見直しのため(7)				
(2) 校舎	専用	1,026,179.45㎡ 1,024,876.74㎡ 1,038,309.92㎡ 1,033,968.36㎡	23,678.98㎡ 22,972.07㎡ 23,088.22㎡ 20,216.72㎡	16,355.55㎡ 16,233.76㎡ 16,355.03㎡	1,066,213.98㎡ 1,064,082.56㎡ 1,077,631.89㎡ 1,070,540.11㎡	共用 日本大学短期大学部 日本大学医学部附属 看護専門学校 (収容定員240人) (面積基準860㎡) 日本大学歯学部附属 歯科理工専門学校 (収容定員105人) (面積基準455㎡) 日本大学歯学部附属 歯科衛生専門学校 (収容定員120人) (面積基準500㎡) 日本大学松戸歯学部 附属歯科衛生専門 学校 (収容定員120人) (面積基準500㎡)			
	共用	(3,080.95㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(3,080.95㎡)	各学部における校舎の新築・ 改築等及び専用・共用区分の 見直しのため(5) 各学部における校舎の新築・ 改築等及び専用・共用区分の 見直しのため(6) 各学部における校舎の新築・ 改築等及び専用・共用区分の 見直しのため(7)			
(3) 教室・教員研究室	教室		663室	教員研究室	15室 9室	新規採用教員・退職等 による研究室変更 (7)			
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 標本	記載内容の誤りによる訂正(5) 契約見直し変更(6) 契約見直し変更(7)		
	生物資源科学部 海洋生物学科	冊	4,874 [3,575]	種		点			
		冊	20,386 [4,301] 21,661 [3,699] (20,307 [4,296]) (20,305 [4,295]) (20,270 [4,294]) (21,383 [3,669])	4,874 [3,575]	3,771 [1,083] 26,180 [20,013] (3,758 [1,078]) (3,771 [1,083]) (26,180 [20,013])	334 [331] 335 [332] (332 [329]) (334 [331]) (335 [332])	472 (540) (504) (504) (510)	0 (0)	
計	冊	20,386 [4,301] 21,661 [3,699] (20,307 [4,296]) (20,305 [4,295]) (20,270 [4,294]) (21,383 [3,669])	4,874 [3,575]	3,771 [1,083] 26,180 [20,013] (3,758 [1,078]) (3,771 [1,083]) (26,180 [20,013])	334 [331] 335 [332] (332 [329]) (334 [331]) (335 [332])	472 (540) (504) (504) (510)	0 (0)		
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設	7,607.47㎡	講堂	13,764.55㎡	厚生補導施設	11,703.82㎡			
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設年度の予算額を もとに算出したため 変更となった(5)	
		教員1人当り研究費等	400千円	380千円 400千円	図書購入費	570千円 450千円	570千円 450千円	680千円 670千円 450千円	令和7年度の予算額 を見直した結果、理 系・文系の分野に関 係なく、一律38万円 への変更した。併せ て図書・設備の見直 しをしたため変更と なった(7)
		共同研究費等	910千円 -1,560千円	910千円 -1,560千円	設備購入費	63千円 55千円	63千円 55千円	510千円 63千円 55千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
学生納付金以外の維持方法の概要	1,700千円	1,440千円	1,440千円	1,440千円	千円	千円	資産運用収入、雑収入、寄付金等		

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・ 国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	日本大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	4	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	11
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
法学部		1,533	-	6,132	-	1.09	1.07	-	昭和24	-				
法律学科	4	533	-	2,132	学士(法学)	1.14	1.12	-	昭和24	東京都千代田区神田三崎町2-3-1				
政治経済学科	4	350	-	1,400	学士(法学)	1.06	1.04	-	昭和24	同上				
新聞学科	4	200	-	800	学士(法学)	1.04	1.02	-	昭和24	同上				
経営法学科	4	200	-	800	学士(法学)	1.12	1.10	-	昭和39	同上				
公共政策学科	4	250	-	1,000	学士(法学)	1.04	1.02	-	昭和39	同上				
第二部														
法学部		200	-	800	-	0.72	-	-	昭和24	-				
法律学科	4	200	-	800	学士(法学)	0.72	-	-	昭和24	東京都千代田区神田三崎町2-3-1				
文理学部		1,900	-	7,600	-	1.10	1.06	-	昭和33	-				
哲学科	4	88	-	352	学士(文学)	1.13	1.05	-	昭和33	東京都世田谷区桜上水3-25-40				
史学科	4	133	-	532	学士(文学)	1.12	1.08	-	昭和33	同上				
国文学科	4	133	-	532	学士(文学)	1.08	1.04	-	昭和33	同上				
中国語中国文化学科	4	70	-	280	学士(文学)	1.04	1.00	-	昭和33	同上				
英文学科	4	133	-	532	学士(文学)	1.14	1.07	-	昭和33	同上				
ドイツ文学科	4	80	-	320	学士(文学)	1.01	0.99	-	昭和34	同上				
社会学科	4	210	-	840	学士(社会学)	1.11	1.08	-	昭和33	同上				
社会福祉学科	4	60	-	240	学士(社会福祉学)	1.10	1.07	-	平成25	同上				
教育学科	4	120	-	480	学士(教育学)	1.10	1.07	-	昭和33	同上				
体育学科	4	200	-	800	学士(体育学)	1.10	1.08	-	昭和37	同上				
心理学科	4	130	-	520	学士(心理学)	1.15	1.11	-	昭和33	同上				
地理学科	4	80	-	320	学士(地理学)	1.11	1.07	-	昭和33	同上				
地球科学科	4	80	-	320	学士(理学)	1.10	1.07	-	昭和36	同上				
数学科	4	73	-	292	学士(理学)	1.09	1.06	-	昭和33	同上				
情報科学科	4	80	-	320	学士(理学)	1.12	1.07	-	昭和37	同上				
物理学科	4	70	-	280	学士(理学)	0.96	-	-	昭和33	同上				
生命科学科	4	70	-	280	学士(理学)	1.06	1.02	-	平成16	同上				
化学科	4	90	-	360	学士(理学)	1.08	1.04	-	昭和37	同上				
経済学部		1,566	-	6,264	-	1.11	1.06	-	昭和24	-				
経済学科	4	916	-	3,664	学士(経済学)	1.16	1.10	-	昭和24	東京都千代田区神田三崎町1-3-2				
産業経営学科	4	450	-	1,800	学士(経済学)	1.10	1.05	-	昭和39	同上				

金融公共経済学科	4	200	-	800	学士 (経済学)	0.92	-	-	平成22	同上
商学部		1,266	-	5,064	-	1.08	1.04	-	昭和32	-
商業学科	4	666	-	2,664	学士 (商学)	1.08	1.04	-	昭和32	東京都世田谷区 砧5-2-1
経営学科	4	350	-	1,400	学士 (商学)	1.11	1.05	-	昭和39	同上
会計学科	4	250	-	1,000	学士 (商学)	1.07	1.02	-	昭和39	同上
芸術学部		866	-	3,464	-	1.09	1.04	-	昭和24	-
写真学科	4	100	-	400	学士 (芸術)	1.09	1.03	-	昭和24	東京都練馬区 旭丘2-42-1
映画学科	4	150	-	600	学士 (芸術)	1.10	1.03	-	昭和24	同上
美術学科	4	60	-	240	学士 (芸術)	1.10	1.04	-	昭和24	同上
音楽学科	4	90	-	360	学士 (芸術)	1.07	1.03	-	昭和24	同上
文芸学科	4	120	-	480	学士 (芸術)	1.11	1.03	-	昭和24	同上
演劇学科	4	126	-	504	学士 (芸術)	1.09	1.04	-	昭和25	同上
放送学科	4	120	-	480	学士 (芸術)	1.06	1.03	-	昭和35	同上
デザイン学科	4	100	-	400	学士 (芸術)	1.09	1.05	-	平成8	同上
国際関係学部		666	-	2,664	-	0.99	-	-	昭和54	-
国際総合政策学科	4	383	-	1,532	学士 (国際関係)	1.02	0.98	-	平成23	静岡県三島市 文教町2-31-145
国際教養学科	4	283	-	1,132	学士 (国際関係)	0.95	-	-	平成23	同上
危機管理学部		300	-	1,200	-	1.07	1.04	-	平成28	-
危機管理学科	4	300	-	1,200	学士 (危機管理 学)	1.07	1.04	-	平成28	東京都世田谷区 下馬3-34-1
スポーツ科学部		300	-	1,200	-	1.06	1.04	-	平成28	-
競技スポーツ学科	4	300	-	1,200	学士 (体育学)	1.06	1.04	-	平成28	東京都世田谷区 下馬3-34-1
理工学部		2,030	-	8,120	-	1.12	1.06	-	昭和33	-
土木工学科	4	220	-	880	学士 (工学)	1.10	1.03	-	昭和33	東京都千代田区神 田駿河台1-8-14
交通システム工学科	4	120	-	480	学士 (工学)	1.08	1.04	-	昭和37	千葉県船橋市習 志野台7-24-1
建築学科	4	250	-	1,000	学士 (工学)	1.14	1.10	-	昭和33	同上
海洋建築工学科	4	120	-	480	学士 (工学)	1.16	1.11	-	昭和53	同上
まちづくり工学科	4	100	-	400	学士 (工学)	1.08	1.05	-	平成25	同上
機械工学科	4	160	-	640	学士 (工学)	1.18	1.09	-	昭和33	同上
精密機械工学科	4	140	-	560	学士 (工学)	1.14	1.08	-	昭和37	同上
航空宇宙工学科	4	120	-	480	学士 (工学)	1.03	0.97	-	昭和53	同上
電気工学科	4	160	-	640	学士 (工学)	1.13	1.07	-	昭和33	同上
電子工学科	4	100	-	400	学士 (工学)	1.05	1.00	-	昭和53	同上
応用情報工学科	4	100	-	400	学士 (工学)	1.15	1.11	-	平成25	同上
物質応用化学科	4	200	-	800	学士 (工学)	1.11	1.05	-	昭和33	同上

物理学科	4	140	-	560	学士 (理学)	1.14	1.09	-	昭和33	同上	
数学科	4	100	-	400	学士 (理学)	1.15	1.11	-	昭和34	同上	
生産工学部		1,540	-	6,160	-	1.11	1.07	-	昭和41	-	
機械工学科	4	198	-	792	学士 (工学)	1.15	1.11	-	昭和41	千葉県習志野市 泉町1-2-1	
電気電子工学科	4	176	-	704	学士 (工学)	1.20	1.15	-	昭和41	千葉県習志野市 新栄2-11-1	
土木工学科	4	198	-	792	学士 (工学)	0.96	-	-	昭和41	同上	
建築工学科	4	198	-	792	学士 (工学)	1.17	1.13	-	昭和41	同上	
応用分子化学科	4	176	-	704	学士 (工学)	1.05	1.00	-	昭和41	同上	
マネジメント工学科	4	176	-	704	学士 (工学)	1.12	1.08	-	昭和41	同上	
数理情報工学科	4	154	-	616	学士 (工学)	1.21	1.18	-	昭和41	同上	
環境安全工学科	4	132	-	528	学士 (工学)	1.00	-	-	昭和21	同上	
創生デザイン学科	4	132	-	528	学士 (工学)	1.14	1.09	-	昭和21	同上	
工学部		1,030	-	4,120	-	0.88	-	-	昭和24	-	
土木工学科	4	160	-	640	学士 (工学)	0.83	-	-	昭和24	福島県郡山市田村 町徳定字中河原 1	
建築学科	4	190	-	760	学士 (工学)	0.99	-	-	昭和24	同上	
機械工学科	4	180	-	720	学士 (工学)	0.75	-	-	昭和24	同上	
電気電子工学科	4	180	-	720	学士 (工学)	0.77	-	-	昭和24	同上	
生命応用化学科	4	130	-	520	学士 (工学)	0.70	-	-	昭和24	同上	
情報工学科	4	190	-	760	学士 (工学)	1.15	1.13	-	平成 5	同上	
医学部		135	-	770	-	1.01	0.98	-	昭和27	-	
医学科	6	135	-	770	学士 (医学)	1.01	0.98	令和 7	昭和27	東京都板橋区 大谷口上町30-1	令和 7 年度臨時入学生員増 (120→135)
歯学部		130	-	780	-	1.01	0.92	-	昭和27	-	
歯学科	6	130	-	780	学士 (歯学)	1.01	0.92	-	昭和27	東京都千代田区 神田駿河台1-8-13	
松戸歯学部		130	-	780	-	0.94	-	-	昭和51	-	
歯学科	6	130	-	780	学士 (歯学)	0.94	-	-	昭和51	千葉県松戸市 栄町西2-870-1	
生物資源科学部 (4年制)	4	1,400	-	4,336	-	1.03	1.03	-	平成 8	-	
生物資源科学部 (6年制)	6	120	-	720	-	1.07	1.05	-	平成 8	-	
バイオサイエンス学科	4	210	-	630	学士 (生物資源学)	1.03	-	令和 5	令和 5	神奈川県藤沢市 亀井野1866	令和 5 年度から改組による学科設置 (0→210)
動物学科	4	136	-	408	学士 (生物資源学)	1.02	-	令和 5	令和 5	同上	令和 5 年度から改組による学科設置 (0→136)
海洋生物学科	4	146	-	438	学士 (生物資源学)	1.06	-	令和 5	令和 5	同上	令和 5 年度から改組による学科設置 (0→146)
森林学科	4	120	-	360	学士 (生物資源学)	0.95	0.95	令和 5	令和 5	同上	令和 5 年度から改組による学科設置 (0→120)
環境学科	4	130	-	390	学士 (生物資源学)	1.02	-	令和 5	令和 5	同上	令和 5 年度から改組による学科設置 (0→130)
アグリサイエンス学科	4	140	-	420	学士 (生物資源学)	1.04	-	令和 5	令和 5	同上	令和 5 年度から改組による学科設置 (0→140)
食品開発学科	4	146	-	438	学士 (生物資源学)	1.01	1.01	令和 5	令和 5	同上	令和 5 年度から改組による学科設置 (0→146)

食品ビジネス学科	4	146	-	574	学士 (生物資源学)	1.10	1.08	-	平成8	同上	令和5年度から入学定員変更(136→146)
国際共生学科	4	146	-	438	学士 (生物資源学)	1.03	1.03	令和5	令和5	同上	令和5年度から改組による学科設置(0→146)
獣医保健看護学科	4	80	-	240	学士 (生物資源学)	1.03	-	令和5	令和5	同上	令和5年度から改組による学科設置(0→80)
獣医学科	6	120	-	720	学士 (獣医学)	1.07	1.05	-	平成8	同上	
生命農学科	4	-	-	-	学士 (生物資源学)	-	-	-	平成8	同上	令和5年度入学生より学生募集停止
生命化学科	4	-	-	-	学士 (生物資源学)	-	-	-	平成8	同上	令和5年度入学生より学生募集停止
動物資源科学科	4	-	-	-	学士 (生物資源学)	-	-	-	平成8	同上	令和5年度入学生より学生募集停止
森林資源科学科	4	-	-	-	学士 (生物資源学)	-	-	-	平成8	同上	令和5年度入学生より学生募集停止
海洋生物資源科学科	4	-	-	-	学士 (生物資源学)	-	-	-	平成8	同上	令和5年度入学生より学生募集停止
生物環境工学科	4	-	-	-	学士 (生物資源学)	-	-	-	平成8	同上	令和5年度入学生より学生募集停止
食品生命学科	4	-	-	-	学士 (生物資源学)	-	-	-	平成8	同上	令和5年度入学生より学生募集停止
国際地域開発学科	4	-	-	-	学士 (生物資源学)	-	-	-	平成8	同上	令和5年度入学生より学生募集停止
応用生物科学科	4	-	-	-	学士 (生物資源学)	-	-	-	平成8	同上	令和5年度入学生より学生募集停止
くらしの生物学科	4	-	-	-	学士 (生物資源学)	-	-	-	平成27	同上	令和5年度入学生より学生募集停止
薬学部		244	-	1,464	-	1.04	0.98	-	平成18	-	
薬学科	6	244	-	1,464	学士 (薬学)	1.04	0.98	-	平成18	千葉県船橋市習志野台7-7-1	
(通信教育部)		9,000	-	36,000	-	-	-	-	昭和25	-	
法学部	4	3,000	-	12,000	学士 (法学)	0.10	-	-	昭和25	東京都千代田区九段南4-8-28	
文理学部	4	3,000	-	12,000	学士 (文学)	0.29	-	-	昭和25	同上	
経済学部	4	1,500	-	6,000	学士 (経済学)	0.18	-	-	昭和25	同上	
商学部	4	1,500	-	6,000	学士 (商学)	0.26	-	-	昭和32	同上	
大学全体	4	24,356	-	97,638	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	日本大学短期大学部										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
ビジネス教養学科	2	60	-	160	短期大学士(商経学)	0.64	-	-	昭和25	静岡県三島市文教町2-31-145	令和7年度から入学定員変更(100→60)			
食物栄養学科	2	-	-	-	短期大学士(栄養学)	-	-	-	昭和37	同上	令和7年度入学生より学生募集停止			
建築・生活デザイン学科	2	102	-	204	短期大学士(工学)	0.76	-	-	昭和25	千葉県船橋市習志野台7-24-1				
ものづくり・サイエンス総合学科	2	78	-	156	短期大学士(工学)又は(理学)	0.62	-	-	昭和25	同上				
大学全体	2	240	-	520	-	-	-	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあつては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<生物資源科学部 海洋生物学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【令和5年度】			【令和6年度】			【令和7年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	75 コウイチ 荒 功一 <令和5年4月> 博士(理学)	専	教授	75 コウイチ 荒 功一 <令和5年4月> 博士(理学)	専	教授	75 コウイチ 荒 功一 <令和5年4月> 博士(理学)	基(主専)	教授	75 コウイチ 荒 功一 <令和5年4月> 博士(理学)
		海洋基礎実習Ⅰ 水族館論 海洋生物展示学 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 海洋環境学 プランクトン学 海洋環境学実験			海洋基礎実習Ⅰ 水族館論 海洋生物展示学 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 海洋環境学 プランクトン学 海洋環境学実験 海洋基礎実習Ⅱ			海洋基礎実習Ⅰ 水族館論 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 海洋環境学 プランクトン学 海洋環境学実験 海洋基礎実習Ⅱ 海洋生物学概論 小型船舶操縦法実習			海洋基礎実習Ⅰ 水族館論 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 海洋環境学 プランクトン学 海洋環境学実験 海洋基礎実習Ⅱ 海洋生物学概論 小型船舶操縦法実習 海洋生物学演習Ⅰ 海洋生物学実習Ⅰ 海洋特別講義
専	教授	111 シロウ 糸井 史朗 <令和5年4月> 博士(農学)	専	教授	111 シロウ 糸井 史朗 <令和5年4月> 博士(農学)	専	教授	111 シロウ 糸井 史朗 <令和5年4月> 博士(農学)	基(主専)	教授	111 シロウ 糸井 史朗 <令和5年4月> 博士(農学)
		海洋生物学概論 海洋基礎実習Ⅰ 海洋生物展示学 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 食品衛生学実験 食品衛生学 マリントキシン			海洋生物学概論 海洋基礎実習Ⅰ 海洋生物展示学 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 食品衛生学実験 食品衛生学 マリントキシン 海洋基礎実習Ⅱ 水族館論			海洋生物学概論 海洋基礎実習Ⅰ 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 食品衛生学実験 食品衛生学 マリントキシン 海洋基礎実習Ⅱ 水族館論			海洋生物学概論 海洋基礎実習Ⅰ 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 食品衛生学実験 食品衛生学 マリントキシン 海洋基礎実習Ⅱ 水族館論 海洋生物学演習Ⅰ 海洋生物学実習Ⅰ 海洋特別講義
専	教授	コジマ タカト 小島 隆人 <令和5年4月> 博士(農学)	専	教授	コジマ タカト 小島 隆人 <令和5年4月> 博士(農学)	専	教授	コジマ タカト 小島 隆人 <令和5年4月> 博士(農学)	基(主専)	教授	コジマ タカト 小島 隆人 <令和5年4月> 博士(農学)
		海洋基礎実習Ⅰ 水族館論 海洋生物展示学 海洋基礎物理 小型船舶操縦法実習 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 学外研修 漁業生産システム学実験 漁業生産システム学 魚群行動学			海洋基礎実習Ⅰ 水族館論 海洋生物展示学 海洋基礎物理 小型船舶操縦法実習 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 学外研修 漁業生産システム学実験 漁業生産システム学 魚群行動学 海洋基礎実習Ⅱ			海洋基礎実習Ⅰ 水族館論 小型船舶操縦法実習 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 学外研修 漁業生産システム学実験 漁業生産システム学 魚群行動学 海洋基礎実習Ⅱ 海洋生物学概論			海洋基礎実習Ⅰ 水族館論 小型船舶操縦法実習 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 学外研修 漁業生産システム学実験 漁業生産システム学 魚群行動学 海洋基礎実習Ⅱ 海洋生物学概論 海洋生物学演習Ⅰ 海洋生物学実習Ⅰ 海洋特別講義
兼任	講師	コジマ タカト 小島 隆人 <令和8年4月> 博士(農学)									
		海洋基礎物理 漁業生産システム学 魚群行動学									

専	准教授	マノ ノブヒロ 間野 伸宏 <令和5年4月> 博士(農学)	マノ ノブヒロ 間野 伸宏 <令和5年4月> 博士(農学)	マノ ノブヒロ 間野 伸宏 <令和5年4月> 博士(農学)	マノ ノブヒロ 間野 伸宏 <令和5年4月> 博士(農学)
		海洋基礎実習Ⅱ 水族館論 海洋生物展示学 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 魚病学 魚病学実験 海洋微生物学	海洋基礎実習Ⅱ 水族館論 海洋生物展示学 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 魚病学 魚病学実験 海洋微生物学	海洋基礎実習Ⅱ 水族館論 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 魚病学 魚病学実験 海洋微生物学 海洋生物学概論 海洋基礎実習Ⅰ	海洋基礎実習Ⅱ 水族館論 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 魚病学 魚病学実験 海洋微生物学 海洋生物学概論 海洋基礎実習Ⅰ 海洋生物学演習Ⅰ 海洋生物学実習Ⅰ 海洋特別講義
		コイト トモコ 小糸 智子 <令和5年4月> 博士(環境学)	コイト トモコ 小糸 智子 <令和5年4月> 博士(環境学)	コイト トモコ 小糸 智子 <令和5年4月> 博士(環境学)	
		海洋基礎実習Ⅰ 水族館論 海洋生物展示学 小型船舶操縦法実習 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅰ 海洋生物学実習Ⅰ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 無脊椎動物学 海洋環境学実験 深海生物学	海洋基礎実習Ⅰ 水族館論 海洋生物展示学 小型船舶操縦法実習 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅰ 海洋生物学実習Ⅰ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 無脊椎動物学 海洋環境学実験 深海生物学 海洋基礎実習Ⅱ	海洋基礎実習Ⅰ 水族館論 小型船舶操縦法実習 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅰ 海洋生物学実習Ⅰ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 海洋環境学実験 深海生物学 海洋基礎実習Ⅱ 海洋生物学概論 海洋基礎生物	
専	助教	シハ 将 康宏 <令和5年4月> 博士(獣医学)	シハ 将 康宏 <令和5年4月> 博士(獣医学)	シハ 将 康宏 <令和5年4月> 博士(獣医学)	シハ 将 康宏 <令和5年4月> 博士(獣医学)
		海洋生物学概論 海洋基礎実習Ⅱ 海洋生物展示学 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅰ 海洋生物学実習Ⅰ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 水族免疫学 魚病学実験 水族環境学	海洋生物学概論 海洋基礎実習Ⅱ 海洋生物展示学 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅰ 海洋生物学実習Ⅰ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 水族免疫学 魚病学実験 水族環境学 水族館論	海洋生物学概論 海洋基礎実習Ⅱ 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅰ 海洋生物学実習Ⅰ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 水族免疫学 魚病学実験 水族環境学 水族館論 海洋基礎実習Ⅰ	海洋生物学概論 海洋基礎実習Ⅱ 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅰ 海洋生物学実習Ⅰ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 水族免疫学 魚病学実験 水族環境学 水族館論 海洋基礎実習Ⅰ 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 海洋特別講義
		スチ (イ) レイ 周防 玲 <令和5年4月> 博士(農学)	スチ (イ) レイ 周防 (入江) 玲 <令和5年4月> 博士(農学)	スチ (イ) レイ 周防 (入江) 玲 <令和5年4月> 博士(農学)	スチ (イ) レイ 周防 (入江) 玲 <令和5年4月> 博士(農学)
		海洋生物学概論 海洋基礎実習Ⅰ 海洋生物展示学 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅰ 海洋生物学実習Ⅰ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 食品衛生学実験 生物有機化学 ケミカルバイオロジ-	海洋生物学概論 海洋基礎実習Ⅰ 海洋生物展示学 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅰ 海洋生物学実習Ⅰ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 食品衛生学実験 生物有機化学 ケミカルバイオロジ- 海洋基礎実習Ⅱ 水族館論	海洋生物学概論 海洋基礎実習Ⅰ 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅰ 海洋生物学実習Ⅰ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 食品衛生学実験 生物有機化学 ケミカルバイオロジ- 海洋基礎実習Ⅱ 水族館論	海洋生物学概論 海洋基礎実習Ⅰ 海洋生物展示学実習 海洋生物学演習Ⅰ 海洋生物学実習Ⅰ 学外研修 海洋生物学研究Ⅰ 海洋生物学研究Ⅱ 食品衛生学実験 生物有機化学 ケミカルバイオロジ- 海洋基礎実習Ⅱ 水族館論 海洋生物学演習Ⅱ 海洋生物学実習Ⅱ 海洋特別講義

兼担	教授	カト クミ 阪本 久美子 <令和5年4月> Ph.D. in English (英国)	兼担	教授	カト クミ 阪本 久美子 <令和5年4月> Ph.D. in English (英国)	兼担	教授	カト クミ 阪本 久美子 <令和5年4月> Ph.D. in English (英国)	その他	教授	カト クミ 阪本 久美子 <令和5年4月> Ph.D. in English (英国)
		英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B			英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B			英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B			英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B
兼担	教授	シバ ヒサ 渋谷 久 <令和5年4月> Ph.D. (米国)	兼担	教授	シバ ヒサ 渋谷 久 <令和5年4月> Ph.D. (米国)	兼担	教授	シバ ヒサ 渋谷 久 <令和5年4月> Ph.D. (米国)	その他	教授	シバ ヒサ 渋谷 久 <令和5年4月> Ph.D. (米国)
		海外フィールド実習			海外フィールド実習			海外フィールド実習			海外フィールド実習
兼担	教授	シミ (カサ) ミキ 清水 (草薙) みゆき <令和5年4月> 博士(農学)	兼担	教授	シミ (カサ) ミキ 清水 (草薙) みゆき <令和5年4月> 博士(農学)	兼担	教授	シミ (カサ) ミキ 清水 (草薙) みゆき <令和5年4月> 博士(農学)	その他	教授	シミ (カサ) ミキ 清水 (草薙) みゆき <令和5年4月> 博士(農学)
		生物資源科学概論			生物資源科学概論			生物資源科学概論			生物資源科学概論
兼担	教授	スエ カシ 須江 隆 <令和5年4月> 博士(文学)	兼担	教授	スエ カシ 須江 隆 <令和5年4月> 博士(文学)	兼担	教授	スエ カシ 須江 隆 <令和5年4月> 博士(文学)	その他	教授	スエ カシ 須江 隆 <令和5年4月> 博士(文学)
		歴史学入門 世界の歴史 生物資源科学概論			歴史学入門 世界の歴史 生物資源科学概論 自主創造の基礎 日本を考える			歴史学入門 世界の歴史 生物資源科学概論 自主創造の基礎 日本を考える			歴史学入門 世界の歴史 生物資源科学概論 自主創造の基礎 日本を考える
兼担	教授	スガ マキ 菅沼 桂子 <令和5年4月> 博士(経済学)	兼担	教授	スガ マキ 菅沼 桂子 <令和5年4月> 博士(経済学)	兼担	教授	スガ マキ 菅沼 桂子 <令和5年4月> 博士(経済学)			
		経済学入門 経済と現代社会			経済学入門 経済と現代社会			経済学入門 経済と現代社会			
兼担	教授	スガ ユカ 須永 豊 <令和5年4月> Master of Arts in African-American World Studies(米国)	兼担	教授	スガ ユカ 須永 豊 <令和5年4月> Master of Arts in African-American World Studies(米国)	兼担	教授	スガ ユカ 須永 豊 <令和5年4月> Master of Arts in African-American World Studies(米国)	その他	教授	スガ ユカ 須永 豊 <令和5年4月> Master of Arts in African-American World Studies(米国)
		英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B			英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B 英語 I A 英語 I B			英語 II A 英語 II B			英語 I A 英語 I B
兼担	教授	シバ ヒサ 瀧澤 英紀 <令和5年4月> 博士(農学)	兼担	教授	シバ ヒサ 瀧澤 英紀 <令和5年4月> 博士(農学)	兼担	教授	シバ ヒサ 瀧澤 英紀 <令和5年4月> 博士(農学)	その他	教授	シバ ヒサ 瀧澤 英紀 <令和5年4月> 博士(農学)
		生物資源科学概論			生物資源科学概論			生物資源科学概論			生物資源科学概論
兼担	教授	ナハ ケン 難波 謙二 <令和5年4月> 経済学士	兼担	教授	ナハ ケン 難波 謙二 <令和5年4月> 経済学士	兼担	教授	ナハ ケン 難波 謙二 <令和5年4月> 経済学士			
		スポーツ実技 I スポーツ実技 II スポーツ科学			スポーツ実技 I スポーツ実技 II スポーツ科学			スポーツ実技 I スポーツ実技 II スポーツ科学			
兼担	教授	ニムラ トモヨシ 西村 知良 <令和5年4月> 博士(理学)	兼担	教授	ニムラ トモヨシ 西村 知良 <令和5年4月> 博士(理学)	兼担	教授	ニムラ トモヨシ 西村 知良 <令和5年4月> 博士(理学)	その他	教授	ニムラ トモヨシ 西村 知良 <令和5年4月> 博士(理学)
		基礎生物学 総合生物学			基礎生物学 総合生物学			基礎生物学 総合生物学			基礎生物学 総合生物学
兼担	教授	ハセガワ マサエ 長谷川 正江 <令和5年4月> 文学修士	兼担	教授	ハセガワ マサエ 長谷川 正江 <令和5年4月> 文学修士	兼任 講師	講師	ハセガワ マサエ 長谷川 正江 <令和5年4月> 文学修士	その他	講師	ハセガワ マサエ 長谷川 正江 <令和5年4月> 文学修士
		日本語表現の基礎 日本の文学			日本語表現の基礎 日本の文学 日本語 II			日本語表現の基礎 日本の文学 日本語 II			日本語表現の基礎 日本の文学
兼担	教授	ハマダ タカヨシ 濱田 龍義 <令和5年4月> 博士(理学)	兼担	教授	ハマダ タカヨシ 濱田 龍義 <令和5年4月> 博士(理学)	兼担	教授	ハマダ タカヨシ 濱田 龍義 <令和5年4月> 博士(理学)	その他	教授	ハマダ タカヨシ 濱田 龍義 <令和5年4月> 博士(理学)
		解析学 線形代数 データサイエンスの基礎 情報科学			解析学 線形代数 データサイエンスの基礎 情報科学			解析学 線形代数 データサイエンスの基礎 情報科学			線形代数 データサイエンスの基礎 情報科学
兼担	教授	マツハシ アキラ 松橋 明宏 <令和5年4月> 博士(医学)	兼担	教授	マツハシ アキラ 松橋 明宏 <令和5年4月> 博士(医学)	兼担	教授	マツハシ アキラ 松橋 明宏 <令和5年4月> 博士(医学)	その他	教授	マツハシ アキラ 松橋 明宏 <令和5年4月> 博士(医学)
		スポーツ実技 I スポーツ実技 II			スポーツ実技 I スポーツ実技 II			スポーツ実技 I スポーツ実技 II スポーツ科学			スポーツ実技 I スポーツ実技 II スポーツ科学

兼担	教授	丸山 智幸 〈令和5年4月〉 理学博士	兼担	教授	丸山 智幸 〈令和5年4月〉 理学博士	兼担	教授	丸山 智幸 〈令和5年4月〉 理学博士	その他	教授	丸山 智幸 〈令和5年4月〉 理学博士
		物理学入門 基礎力学 物理学実験			物理学入門 基礎力学 物理学実験			物理学入門 基礎力学 物理学実験			物理学入門 基礎力学 物理学実験
兼担	教授	森 長秀 〈令和5年4月〉 修士(法学)	兼担	教授	森 長秀 〈令和5年4月〉 修士(法学)	兼担	教授	森 長秀 〈令和5年4月〉 修士(法学)	その他	教授	森 長秀 〈令和5年4月〉 修士(法学)
		法学入門 日本国憲法 現代社会と福祉 ボランティア論			法学入門 日本国憲法 現代社会と福祉 ボランティア論 自主創造の基礎 日本を考える			法学入門 日本国憲法 現代社会と福祉 ボランティア論 自主創造の基礎 日本を考える			法学入門 日本国憲法 現代社会と福祉 ボランティア論 自主創造の基礎 日本を考える
兼担	教授	横山 安紀子 〈令和5年4月〉 文学博士	兼担	教授	横山 安紀子 〈令和5年4月〉 文学博士	兼担	教授	横山 安紀子 〈令和5年4月〉 文学博士	その他	教授	横山 安紀子 〈令和5年4月〉 文学博士
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB
兼担	准教授	北脇 実千代 〈令和5年4月〉 博士(文学)	兼担	准教授	北脇 実千代 〈令和5年4月〉 博士(文学)	兼担	教授	北脇 実千代 〈令和5年4月〉 博士(文学)	その他	教授	北脇 実千代 〈令和5年4月〉 博士(文学)
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB
兼担	准教授	近藤 直樹 〈令和5年4月〉 修士(文学)	兼担	准教授	近藤 直樹 〈令和5年4月〉 修士(文学)	兼担	教授	近藤 直樹 〈令和5年4月〉 修士(文学)	その他	教授	近藤 直樹 〈令和5年4月〉 修士(文学)
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB
兼担	准教授	笹田 勝寛 〈令和5年4月〉 博士(農学)	兼担	准教授	笹田 勝寛 〈令和5年4月〉 博士(農学)	兼担	准教授	笹田 勝寛 〈令和5年4月〉 博士(農学)	その他	准教授	笹田 勝寛 〈令和5年4月〉 博士(農学)
		生物資源科学概論			生物資源科学概論			生物資源科学概論			生物資源科学概論
兼担	准教授	志澤 泰彦 〈令和5年4月〉 修士(農学)	兼担	准教授	志澤 泰彦 〈令和5年4月〉 修士(農学)	兼担	准教授	志澤 泰彦 〈令和5年4月〉 修士(農学)	その他	准教授	志澤 泰彦 〈令和5年4月〉 修士(農学)
		基礎化学 化学概論Ⅰ			基礎化学 化学概論Ⅰ			基礎化学 化学概論Ⅰ			基礎化学 化学概論Ⅰ
兼担	准教授	竹俣 壽郎 〈令和5年4月〉 修士(教育学)	兼担	准教授	竹俣 壽郎 〈令和5年4月〉 修士(教育学)	兼担	准教授	竹俣 壽郎 〈令和5年4月〉 修士(教育学)	その他	准教授	竹俣 壽郎 〈令和5年4月〉 修士(教育学)
		スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ実技Ⅲ スポーツ科学			スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ科学			スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ科学 自主創造の基礎			スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ科学 自主創造の基礎
兼担	准教授	長澤 郁子 〈令和5年4月〉 修士(教育学)	兼担	准教授	長澤 郁子 〈令和5年4月〉 修士(教育学)	兼担	准教授	長澤 郁子 〈令和5年4月〉 修士(教育学)	その他	教授	長澤 郁子 〈令和5年4月〉 修士(教育学)
		スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ			スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ			スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ			スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ 自主創造の基礎
兼担	准教授	中村 篤博 〈令和5年4月〉 博士(理学)	兼担	准教授	中村 篤博 〈令和5年4月〉 博士(理学)	兼担	准教授	中村 篤博 〈令和5年4月〉 博士(理学)	その他	准教授	中村 篤博 〈令和5年4月〉 博士(理学)
		基礎化学 総合化学 地球環境を考える			基礎化学 総合化学			基礎化学 総合化学			基礎化学 総合化学
兼担	准教授	山下 正道 〈令和5年4月〉 博士(薬学)	兼担	准教授	山下 正道 〈令和5年4月〉 博士(薬学)	兼担	准教授	山下 正道 〈令和5年4月〉 博士(薬学)	その他	准教授	山下 正道 〈令和5年4月〉 博士(薬学)
		生物資源科学概論			生物資源科学概論			生物資源科学概論			生物資源科学概論

兼任	准教授	ワナヘ タイスカ 渡邊 泰祐 <令和5年4月> 博士(生物資源科学)
		生物資源科学概論
兼任	講師	アザワ (ウライ) トモ 相澤 (浦井) 朋子 <令和5年4月> 博士(生物資源科学)
		基礎生物学
兼任	講師	アカネ シンタロウ 赤嶺 新太郎 <令和5年4月> 博士(数理学)
		統計学入門 推計学入門 解析学 線形代数
兼任	講師	スガ マコ 須賀 真以子 <令和5年4月> 博士(人文科学)
		日本語 I 日本語 II 日本語表現の基礎 日本の文学
兼任	講師	スミス・コルム Colm Smyth <令和6年4月>
		Master of Arts in Applied Linguistics (英国)
		英語IV A 英語IV B
兼任	講師	タケチ ヒロヒコ 竹内 寛彦 <令和5年4月> 博士(理学)
		基礎生物学 総合生物学 生物学概論 I 生物学概論 II 生物学実験
兼任	講師	ツチヤ トシキ 土屋 徳司 <令和5年4月> 博士(学術)
		総合生物学
兼任	講師	ニシヨリ フグル 錦織 千鶴 <令和5年4月> 修士(教育学)
		スポーツ実技 I スポーツ実技 II
兼任	講師	ヤマウチ アヤコ 山内 綾子 <令和5年4月>
		Master of Arts in TESOL(米国)
		英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B
兼任	講師	ヨシダ (ツチヤ) カミ 吉田 (土屋) 一史美 <令和5年4月> 博士(学術)
		生命倫理
兼任	助教	カイ シズコ 中井 静子 <令和6年4月> 博士(生命科学)
		底生生物学

兼任	准教授	ワナヘ タイスカ 渡邊 泰祐 <令和5年4月> 博士(生物資源科学)
		生物資源科学概論
兼任	講師	アザワ (ウライ) トモ 相澤 (浦井) 朋子 <令和5年4月> 博士(生物資源科学)
		基礎生物学
兼任	講師	アカネ シンタロウ 赤嶺 新太郎 <令和5年4月> 博士(数理学)
		統計学入門 推計学入門 解析学 線形代数
兼任	講師	スガ マコ 須賀 真以子 <令和5年4月> 博士(人文科学)
		日本語 I 日本語表現の基礎 日本の文学 自主創造の基礎
兼任	准教授	スミス・コルム Colm Smyth <令和6年4月>
		Master of Arts in Applied Linguistics (英国)
		英語IV A 英語IV B
兼任	准教授	タケチ ヒロヒコ 竹内 寛彦 <令和5年4月> 博士(理学)
		基礎生物学 総合生物学 生物学概論 I 生物学概論 II 生物学実験
兼任	講師	ニシヨリ フグル 錦織 千鶴 <令和5年4月> 修士(教育学)
		スポーツ実技 I スポーツ実技 II
兼任	講師	ヤマウチ アヤコ 山内 綾子 <令和5年4月>
		Master of Arts in TESOL(米国)
		英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B
兼任	講師	ヨシダ (ツチヤ) カミ 吉田 (土屋) 一史美 <令和5年4月> 博士(学術)
		生命倫理 日本を考える
兼任	講師	カイ シズコ 中井 静子 <令和6年4月> 博士(生命科学)
		底生生物学

兼任	准教授	ワナヘ タイスカ 渡邊 泰祐 <令和5年4月> 博士(生物資源科学)
		生物資源科学概論
兼任	講師	アカネ シンタロウ 赤嶺 新太郎 <令和5年4月> 博士(数理学)
		統計学入門 推計学入門 解析学 線形代数
兼任	講師	スガ マコ 須賀 真以子 <令和5年4月> 博士(人文科学)
		日本語 I 日本語表現の基礎 日本の文学 自主創造の基礎
兼任	准教授	スミス・コルム Colm Smyth <令和6年4月>
		Master of Arts in Applied Linguistics (英国)
		英語IV A 英語IV B
兼任	准教授	タケチ ヒロヒコ 竹内 寛彦 <令和5年4月> 博士(理学)
		基礎生物学 総合生物学
兼任	講師	ニシヨリ フグル 錦織 千鶴 <令和5年4月> 修士(教育学)
		スポーツ実技 I スポーツ実技 II スポーツ実技 III
兼任	講師	ヤマウチ アヤコ 山内 綾子 <令和5年4月>
		Master of Arts in TESOL(米国)
		英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B
兼任	講師	ヨシダ (ツチヤ) カミ 吉田 (土屋) 一史美 <令和5年4月> 博士(学術)
		生命倫理

その他	准教授	ワナヘ タイスカ 渡邊 泰祐 <令和5年4月> 博士(生物資源科学)
		生物資源科学概論
その他	講師	アカネ シンタロウ 赤嶺 新太郎 <令和5年4月> 博士(数理学)
		統計学入門 推計学入門 解析学 線形代数
その他	講師	スガ マコ 須賀 真以子 <令和5年4月> 博士(人文科学)
		日本語 I 日本語表現の基礎 日本の文学 自主創造の基礎
その他	准教授	スミス・コルム Colm Smyth <令和6年4月>
		Master of Arts in Applied Linguistics (英国)
		英語IV A 英語IV B
その他	准教授	タケチ ヒロヒコ 竹内 寛彦 <令和5年4月> 博士(理学)
		基礎生物学 総合生物学
その他	講師	ニシヨリ フグル 錦織 千鶴 <令和5年4月> 修士(教育学)
		スポーツ実技 I スポーツ実技 II 自主創造の基礎
その他	講師	ヤマウチ アヤコ 山内 綾子 <令和5年4月>
		Master of Arts in TESOL(米国)
		英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B
その他	講師	ヨシダ (ツチヤ) カミ 吉田 (土屋) 一史美 <令和5年4月> 博士(学術)
		生命倫理 倫理学入門 倫理学の現在

兼任	助教	ナハ コウヘイ 難波 皓平 <令和5年4月> 修士(人間科学)	兼任	助教	ナハ コウヘイ 難波 皓平 <令和5年4月> 修士(人間科学)	兼任	助教	ナハ コウヘイ 難波 皓平 <令和5年4月> 修士(人間科学)	その他	助教	ナハ コウヘイ 難波 皓平 <令和5年4月> 修士(人間科学)
		スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ実技Ⅲ スポーツ実技Ⅳ			スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ実技Ⅲ スポーツ実技Ⅳ			スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ実技Ⅲ スポーツ実技Ⅳ 自主創造の基礎			スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ実技Ⅲ スポーツ実技Ⅳ 自主創造の基礎
					トリヤマ マサハル 鳥山 正晴 <令和5年4月> 学士(芸術)			トリヤマ マサハル 鳥山 正晴 <令和5年4月> 学士(芸術)			トリヤマ マサハル 鳥山 正晴 <令和5年4月> 学士(芸術)
					日本を考える			日本を考える			日本を考える
					ソコロウヤマ キミ ソコロウ山下 聖美 <令和5年4月> 博士(芸術学)			ソコロウヤマ キミ ソコロウ山下 聖美 <令和5年4月> 博士(芸術学)			ソコロウヤマ キミ ソコロウ山下 聖美 <令和5年4月> 博士(芸術学)
					日本を考える			日本を考える			日本を考える
					ナベモト ヨシノリ 鍋本 由徳 <令和5年4月> 修士(文学)			ナベモト ヨシノリ 鍋本 由徳 <令和5年4月> 修士(文学)			ナベモト ヨシノリ 鍋本 由徳 <令和5年4月> 修士(文学)
					日本を考える			日本を考える			日本を考える
					ツルカワ ナオキ 恒川 直樹 <令和5年4月> 博士(農学)			ツルカワ ナオキ 恒川 直樹 <令和5年4月> 博士(農学)			ツルカワ ナオキ 恒川 直樹 <令和5年4月> 博士(農学)
					自主創造の基礎			自主創造の基礎 総合生物学			自主創造の基礎 総合生物学
					マツダ トシコ 松田 淑子 <令和5年4月> 修士(教育学)			マツダ トシコ 松田 淑子 <令和5年4月> 修士(教育学)			マツダ トシコ 松田 淑子 <令和5年4月> 修士(教育学)
					自主創造の基礎			自主創造の基礎			自主創造の基礎
					ミナヅキ ヒロキ 南澤 宏明 <令和5年4月> 博士(工学)			ミナヅキ ヒロキ 南澤 宏明 <令和5年4月> 博士(工学)			ミナヅキ ヒロキ 南澤 宏明 <令和5年4月> 博士(工学)
					日本を考える			日本を考える			日本を考える
					ワタナベ サトシ 渡邊 志 <令和5年4月> 博士(学術)			ワタナベ サトシ 渡邊 志 <令和5年4月> 博士(学術)			
					データサイエンスの基礎 情報科学			データサイエンスの基礎			
					イシカワ モトキ 石川 元康 <令和5年4月> 修士(工学)			イシカワ モトキ 石川 元康 <令和5年4月> 修士(工学)			イシカワ モトキ 石川 元康 <令和5年4月> 修士(工学)
					日本を考える			日本を考える			日本を考える
					スズカワ シュウゴ 瀧川 修吾 <令和5年4月> 博士(政治学)			スズカワ シュウゴ 瀧川 修吾 <令和5年4月> 博士(政治学)			スズカワ シュウゴ 瀧川 修吾 <令和5年4月> 博士(政治学)
					日本を考える			日本を考える			日本を考える
					マシマ マチコ 真島 顕子 <令和5年4月> 博士(文学)			マシマ マチコ 真島 顕子 <令和5年4月> 博士(文学)			マシマ マチコ 真島 顕子 <令和5年4月> 博士(文学)
					英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB
					サイトリ マサシ 齊藤 将士 <令和5年4月> 修士(人間科学)			サイトリ マサシ 齊藤 将士 <令和5年4月> 修士(人間科学)			サイトリ マサシ 齊藤 将士 <令和5年4月> 修士(人間科学)
					スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ実技Ⅲ			スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ 自主創造の基礎 スポーツ実技Ⅳ			スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ 自主創造の基礎 スポーツ実技Ⅳ
					タカノ カズキ 高野 和彰 <令和5年4月> 博士(芸術学)			タカノ カズキ 高野 和彰 <令和5年4月> 博士(芸術学)			タカノ カズキ 高野 和彰 <令和5年4月> 博士(芸術学)
					日本を考える			日本を考える			日本を考える

				内山 寛 <令和6年4月> 理学博士 総合生物学	内山 寛 <令和6年4月> 理学博士 総合生物学
				光澤 浩 <令和6年4月> 理学博士 基礎生物学	光澤 浩 <令和6年4月> 理学博士 基礎生物学 総合生物学
				秋田 佳恵 <令和6年4月> 博士(生命科学) 基礎生物学 総合生物学 自主創造の基礎 生物学概論Ⅰ 生物学概論Ⅱ 生物学実験	秋田 佳恵 <令和6年4月> 博士(生命科学) 基礎生物学 総合生物学 自主創造の基礎 生物学概論Ⅰ 生物学概論Ⅱ 生物学実験
				岡林 謙起 <令和6年4月> 博士(理学) 基礎化学 総合化学 地球環境を考える	岡林 謙起 <令和6年4月> 博士(理学) 基礎化学 総合化学 地球環境を考える 化学実験
				鈴木 祥平 <令和6年4月> 博士(観光科学) 統計学入門 情報科学	
					大熊 康典 <令和7年4月> 博士(理学) データサイエンスの世界
					古賀 徹 <令和7年4月> 文学修士 データサイエンスの世界
					坂本 カ也 <令和7年4月> 法学修士, 比較法学修士 データサイエンスの世界
					佐藤 佑介 <令和7年4月> 博士(教育学) データサイエンスの世界
					藤田 雅路 <令和7年4月> 博士(医学) データサイエンスの世界
					遠山 岳史 <令和7年4月> 博士(工学) データサイエンスの世界
					野村 正弘 <令和7年4月> (理学修士) 自主創造の基礎
					大澤 正彦 <令和7年4月> 博士(工学) データサイエンスの世界
					亀井 真之介 <令和7年4月> 博士(工学) 日本を考える

兼任	講師	アヤマ 加 青山 加奈 ＜令和5年4月＞ 文学修士 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB	兼任	講師	アヤマ 加 青山 加奈 ＜令和5年4月＞ 文学修士 英語ⅡA 英語ⅡB	兼任	講師	アヤマ 加 青山 加奈 ＜令和5年4月＞ 文学修士 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB	その他	講師	アヤマ 加 青山 加奈 ＜令和5年4月＞ 文学修士 英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	アハ ヒロシ 安倍 弘 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 基礎生物学 総合生物学	兼任	講師	アハ ヒロシ 安倍 弘 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 基礎生物学 総合生物学	兼任	講師	アハ ヒロシ 安倍 弘 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 基礎生物学 総合生物学	その他	講師	アハ ヒロシ 安倍 弘 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 基礎生物学 総合生物学
兼任	講師	アミヤ クミ 雨宮 久美 ＜令和5年4月＞ 修士(文学) 哲学入門 哲学の現在	兼任	講師	アミヤ クミ 雨宮 久美 ＜令和5年4月＞ 修士(文学) 哲学入門 哲学の現在	兼任	講師	アミヤ クミ 雨宮 久美 ＜令和5年4月＞ 修士(文学) 哲学入門 哲学の現在	その他	講師	アミヤ クミ 雨宮 久美 ＜令和5年4月＞ 修士(文学) 哲学入門 哲学の現在
兼任	講師	アントワ-ス・ステビンス Antoine L. Stebbins ＜令和6年4月＞ Master of Arts in Humanities(米国) 英語ⅣA 英語ⅣB	兼任	講師	アントワ-ス・ステビンス Antoine L. Stebbins ＜令和6年4月＞ Master of Arts in Humanities(米国) 英語ⅣA 英語ⅣB	兼任	講師	アントワ-ス・ステビンス Antoine L. Stebbins ＜令和6年4月＞ Master of Arts in Humanities(米国) 英語ⅣA 英語ⅣB	その他	講師	アントワ-ス・ステビンス Antoine L. Stebbins ＜令和6年4月＞ Master of Arts in Humanities(米国) 英語ⅣA 英語ⅣB
兼任	講師	イトウ シンゴ 伊藤 真吾 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 推計学入門	兼任	講師	イトウ シンゴ 伊藤 真吾 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 推計学入門	兼任	講師	イトウ シンゴ 伊藤 真吾 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 推計学入門	その他	講師	イトウ シンゴ 伊藤 真吾 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 推計学入門
兼任	講師	イワカ ヨシエ 岩永 祥恵 ＜令和5年4月＞ 文学修士 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB	兼任	講師	イワカ ヨシエ 岩永 祥恵 ＜令和6年4月＞ 文学修士 英語ⅢA 英語ⅢB	兼任	講師	イワカ ヨシエ 岩永 祥恵 ＜令和6年4月＞ 文学修士 英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅠA 英語ⅠB	その他	講師	イワカ ヨシエ 岩永 祥恵 ＜令和6年4月＞ 文学修士 英語ⅢA 英語ⅢB
兼任	講師	ヴァレ-ス・イア・ホンダ Valerie Zia Honda ＜令和6年4月＞ Master of Arts in Humanities(フランス) 英語ⅣA 英語ⅣB	兼任	講師	ヴァレ-ス・イア・ホンダ Valerie Zia Honda ＜令和6年4月＞ Master of Arts in Humanities(フランス) 英語ⅣA 英語ⅣB	兼任	講師	ヴァレ-ス・イア・ホンダ Valerie Zia Honda ＜令和6年4月＞ Master of Arts in Humanities(フランス) 英語ⅣA 英語ⅣB	その他	講師	ヴァレ-ス・イア・ホンダ Valerie Zia Honda ＜令和6年4月＞ Master of Arts in Humanities(フランス) 英語ⅣA 英語ⅣB
兼任	講師	ウサ キョウコ 宇佐 教子 ＜令和5年4月＞ 修士(文学) 英語ⅡA 英語ⅡB	兼任	講師	ウサ キョウコ 宇佐 教子 ＜令和5年4月＞ 修士(文学) 英語ⅡA 英語ⅡB	兼任	講師	ウサ キョウコ 宇佐 教子 ＜令和5年4月＞ 修士(文学) 英語ⅡA 英語ⅡB	その他	講師	ウサ キョウコ 宇佐 教子 ＜令和5年4月＞ 修士(文学) 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB
兼任	講師	ウサキ ヨウヤ 牛垣 雄矢 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 地理学入門 地理学の現在	兼任	講師	ウサキ ヨウヤ 牛垣 雄矢 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 地理学入門 地理学の現在	兼任	講師	ウサキ ヨウヤ 牛垣 雄矢 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 地理学入門 地理学の現在	その他	講師	ウサキ ヨウヤ 牛垣 雄矢 ＜令和5年4月＞ 博士(理学) 地理学入門 地理学の現在
兼任	講師	エリザベス・マコミック・イノコ Elizabeth McCormick Inoko ＜令和6年4月＞ Master of Arts in English(米国) 英語ⅣA 英語ⅣB	兼任	講師	エリザベス・マコミック・イノコ Elizabeth McCormick Inoko ＜令和6年4月＞ Master of Arts in English(米国) 英語ⅣA 英語ⅣB	兼任	講師	エリザベス・マコミック・イノコ Elizabeth McCormick Inoko ＜令和6年4月＞ Master of Arts in English(米国) 英語ⅣA 英語ⅣB	その他	講師	エリザベス・マコミック・イノコ Elizabeth McCormick Inoko ＜令和6年4月＞ Master of Arts in English(米国) 英語ⅣA 英語ⅣB
兼任	講師	マツバ 勉 大久保 範聡 ＜令和6年4月＞ 博士(農学) 水族発生学	兼任	講師	マツバ 勉 大久保 範聡 ＜令和6年4月＞ 博士(農学) 水族発生学	兼任	講師	マツバ 勉 大久保 範聡 ＜令和6年4月＞ 博士(農学) 水族発生学	その他	講師	マツバ 勉 大久保 範聡 ＜令和6年4月＞ 博士(農学) 水族発生学
兼任	講師	マヤマ ヨシフミ 大山 昌道 ＜令和5年4月＞ 文学修士 初級中国語文法A 初級中国語文法B	兼任	講師	マヤマ ヨシフミ 大山 昌道 ＜令和5年4月＞ 文学修士 初級中国語文法A 初級中国語文法B	兼任	講師	マヤマ ヨシフミ 大山 昌道 ＜令和5年4月＞ 文学修士 初級中国語文法A 初級中国語文法B	その他	講師	マヤマ ヨシフミ 大山 昌道 ＜令和5年4月＞ 文学修士 初級中国語文法A 初級中国語文法B

兼任	講師	おかむら ひろし 岡村 寛 <令和7年4月> 博士(農学)	兼任	講師	おかむら ひろし 岡村 寛 <令和7年4月> 博士(農学)	兼任	講師	おかむら ひろし 岡村 寛 <令和7年4月> 博士(農学)			
		水族統計学			水族統計学			水族統計学			
兼任	講師	かぐら みか 小倉 美加 <令和5年4月> 修士(文学)									
		英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB									
兼任	講師	おざわ けい 小澤 明人 <令和5年4月> 商学士									
		自主創造の基礎 日本を考える									
兼任	講師	かとう りか 加藤 理加 <令和5年4月> 文学修士									
		英語ⅠA 英語ⅠB									
兼任	講師	かみや みつる 神谷 充伸 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	講師	かみや みつる 神谷 充伸 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	講師	かみや みつる 神谷 充伸 <令和5年4月> 博士(理学)	その他	講師	かみや みつる 神谷 充伸 <令和5年4月> 博士(理学)
		藻類学			藻類学			藻類学			藻類学
兼任	講師	きたむら けい 北村 唯司 <令和5年4月> 文学博士	兼任	講師	きたむら けい 北村 唯司 <令和5年4月> 文学博士	兼任	講師	きたむら けい 北村 唯司 <令和5年4月> 文学博士	その他	講師	きたむら けい 北村 唯司 <令和5年4月> 文学博士
		初級韓国語文法A 初級韓国語文法B 初級韓国語会話A 初級韓国語会話B			初級韓国語文法A 初級韓国語文法B 初級韓国語会話A 初級韓国語会話B			初級韓国語文法A 初級韓国語文法B 初級韓国語会話A 初級韓国語会話B			初級韓国語文法A 初級韓国語文法B 初級韓国語会話A 初級韓国語会話B
兼任	講師	きむら とも 木村 聡雄 <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	きむら とも 木村 聡雄 <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	きむら とも 木村 聡雄 <令和5年4月> 文学修士	その他	講師	きむら とも 木村 聡雄 <令和5年4月> 文学修士
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB
兼任	講師	くぼ たけ 久保 尚也 <令和5年4月> 修士(心理学)									
		心理学入門 個性の心理学									
兼任	講師	くりはら けいこ 栗原 順子 <令和5年4月> 修士(中国文学)	兼任	講師	くりはら けいこ 栗原 順子 <令和5年4月> 修士(中国文学)	兼任	講師	くりはら けいこ 栗原 順子 <令和5年4月> 修士(中国文学)	その他	講師	くりはら けいこ 栗原 順子 <令和5年4月> 修士(中国文学)
		初級中国語文法A 初級中国語文法B 中級中国語文法 中級中国語会話			初級中国語文法A 初級中国語文法B 中級中国語文法 中級中国語会話			初級中国語文法A 初級中国語文法B 中級中国語文法 中級中国語会話			初級中国語文法A 初級中国語文法B 中級中国語文法 中級中国語会話 初級中国語会話A 初級中国語会話B
兼任	講師	くろせ しほ 黒瀬 志保 <令和5年4月> 修士(文学)	兼任	講師	くろせ しほ 黒瀬 志保 <令和5年4月> 修士(文学)	兼任	講師	くろせ しほ 黒瀬 志保 <令和5年4月> 修士(文学)	その他	講師	くろせ しほ 黒瀬 志保 <令和5年4月> 修士(文学)
		初級ドイツ語会話A 初級ドイツ語会話B 中級ドイツ語講読A 中級ドイツ語講読B			初級ドイツ語会話A 初級ドイツ語会話B 中級ドイツ語講読A 中級ドイツ語講読B			初級ドイツ語会話A 初級ドイツ語会話B 中級ドイツ語講読A 中級ドイツ語講読B			初級ドイツ語会話A 初級ドイツ語会話B 中級ドイツ語講読A 中級ドイツ語講読B
兼任	講師	こばやし まさひろ 小林 正弘 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	講師	こばやし まさひろ 小林 正弘 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	講師	こばやし まさひろ 小林 正弘 <令和5年4月> 博士(理学)	その他	講師	こばやし まさひろ 小林 正弘 <令和5年4月> 博士(理学)
		統計学入門			統計学入門			統計学入門			統計学入門
兼任	講師	さきたけ きよし 佐々木 聖使 <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	さきたけ きよし 佐々木 聖使 <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	さきたけ きよし 佐々木 聖使 <令和5年4月> 文学修士			
		倫理学入門 倫理学の現在			倫理学入門 倫理学の現在			倫理学入門 倫理学の現在			

兼任	講師	トカ ヲリ 田中 ゆり <令和5年4月> 修士(文学)	兼任	講師	トカ ヲリ 田中 ゆり <令和5年4月> 修士(文学)	兼任	講師	トカ ヲリ 田中 ゆり <令和5年4月> 修士(文学)	その他	講師	トカ ヲリ 田中 ゆり <令和5年4月> 修士(文学)
		英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅠA 英語ⅠB			英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB
兼任	講師	トヤマ マサ 遠山 雅子 <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	トヤマ マサ 遠山 雅子 <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	トヤマ マサ 遠山 雅子 <令和5年4月> 文学修士	その他	講師	トヤマ マサ 遠山 雅子 <令和5年4月> 文学修士
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB
兼任	講師	トガシ スミ 富樫 須奈美 <令和5年4月> 修士(文学)	兼任	講師	トガシ スミ 富樫 須奈美 <令和5年4月> 修士(文学)	兼任	講師	トガシ スミ 富樫 須奈美 <令和5年4月> 修士(文学)	その他	講師	トガシ スミ 富樫 須奈美 <令和5年4月> 修士(文学)
		英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅠA 英語ⅠB			英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	講師	トガシ タカ 富樫 壮央 <令和5年4月> 修士(国際学)	兼任	講師	トガシ タカ 富樫 壮央 <令和5年4月> 修士(国際学)	兼任	講師	トガシ タカ 富樫 壮央 <令和5年4月> 修士(国際学)	その他	講師	トガシ タカ 富樫 壮央 <令和5年4月> 修士(国際学)
		英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅠA 英語ⅠB			英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅠA 英語ⅠB			英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	講師	トヤマ ヒデアキ 富山 英明 <令和5年4月> 体育学士	兼任	講師	トヤマ ヒデアキ 富山 英明 <令和5年4月> 体育学士	兼任	講師	トヤマ ヒデアキ 富山 英明 <令和5年4月> 体育学士	その他	講師	トヤマ ヒデアキ 富山 英明 <令和5年4月> 体育学士
		スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ科学			スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ科学			スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ科学			スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ科学
兼任	講師	ナカガワ ヒコ 中川 千帆 <令和5年4月> 修士(文学)	兼任	講師	ナカガワ ヒコ 中川 千帆 <令和5年4月> 修士(文学)	兼任	講師	ナカガワ ヒコ 中川 千帆 <令和5年4月> 修士(文学)	その他	講師	ナカガワ ヒコ 中川 千帆 <令和5年4月> 修士(文学)
		英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅠA 英語ⅠB			英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅡA 英語ⅡB 英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	講師	ナガノ ヨシノリ 永野 良紀 <令和5年4月> 博士(理学)									
		基礎地球科学 総合地球科学									
兼任	講師	ノブシ ジュンコ 延吉 淳子 <令和5年4月> 教育学修士	兼任	講師	ノブシ ジュンコ 延吉 淳子 <令和5年4月> 教育学修士	兼任	講師	ノブシ ジュンコ 延吉 淳子 <令和5年4月> 教育学修士	その他	講師	ノブシ ジュンコ 延吉 淳子 <令和5年4月> 教育学修士
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅡA 英語ⅡB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB			英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB
兼任	講師	フィリップ・グリーンブラット Philip Greenblatt <令和6年4月> Master in Arts Applied Linguistics (英国)	兼任	講師	フィリップ・グリーンブラット Philip Greenblatt <令和6年4月> Master in Arts Applied Linguistics (英国)	兼任	講師	フィリップ・グリーンブラット Philip Greenblatt <令和6年4月> Master in Arts Applied Linguistics (英国)	その他	講師	フィリップ・グリーンブラット Philip Greenblatt <令和6年4月> Master in Arts Applied Linguistics (英国)
		英語ⅣA 英語ⅣB			英語ⅣA 英語ⅣB			英語ⅣA 英語ⅣB			英語ⅣA 英語ⅣB
兼任	講師	フジキ マサヒコ 古木 正彦 <令和7年4月> 水産学士	兼任	講師	フジキ マサヒコ 古木 正彦 <令和7年4月> 水産学士	兼任	講師	フジキ マサヒコ 古木 正彦 <令和7年4月> 水産学士			
		職業指導			職業指導			職業指導			

兼任	講師	利 ヒロル 堀 広治 <令和5年4月> 修士(文学)	兼任	講師	利 ヒロル 堀 広治 <令和5年4月> 修士(文学)	兼任	講師	利 ヒロル 堀 広治 <令和5年4月> 修士(文学)	その他	講師	利 ヒロル 堀 広治 <令和5年4月> 修士(文学)
		英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B			英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B			英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B			英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B
兼任	講師	和ガ マチ 本多 牧生 <令和5年4月> 博士(地球環境科学)	兼任	講師	和ガ マチ 本多 牧生 <令和5年4月> 博士(地球環境科学)	兼任	講師	和ガ マチ 本多 牧生 <令和5年4月> 博士(地球環境科学)	その他	講師	和ガ マチ 本多 牧生 <令和5年4月> 博士(地球環境科学)
		地球環境を考える			地球環境を考える			地球環境を考える			地球環境を考える 海洋環境化学
兼任	講師	マキ ミツカ 牧野 光琢 <令和7年4月> 博士(人間・環境)	兼任	講師	マキ ミツカ 牧野 光琢 <令和7年4月> 博士(人間・環境)	兼任	講師	マキ ミツカ 牧野 光琢 <令和7年4月> 博士(人間・環境)			
		水産経済学			水産経済学			水産経済学			
兼任	講師	マツキ シゲル 松崎 茂 <令和5年4月> 修士(社会学)	兼任	講師	マツキ シゲル 松崎 茂 <令和5年4月> 修士(社会学)	兼任	講師	マツキ シゲル 松崎 茂 <令和5年4月> 修士(社会学)	その他	講師	マツキ シゲル 松崎 茂 <令和5年4月> 修士(社会学)
		社会学入門 社会学の現在			社会学入門 社会学の現在			社会学入門 社会学の現在			社会学入門 社会学の現在
兼任	講師	モミヤ メリダ 和山 メリダ <令和5年4月>	兼任	講師	モミヤ メリダ 和山 メリダ <令和5年4月>	兼任	講師	モミヤ メリダ 和山 メリダ <令和5年4月>	その他	講師	モミヤ メリダ 和山 メリダ <令和5年4月>
		Licenciado en Educación Especialidad Ciencias(*-*) 初級スペイン語文法A 初級スペイン語文法B 初級スペイン語会話A 初級スペイン語会話B			Licenciado en Educación Especialidad Ciencias(*-*) 初級スペイン語文法A 初級スペイン語文法B 初級スペイン語会話A 初級スペイン語会話B			Licenciado en Educación Especialidad Ciencias(*-*) 初級スペイン語文法A 初級スペイン語文法B 初級スペイン語会話A 初級スペイン語会話B			Licenciado en Educación Especialidad Ciencias(*-*) 初級スペイン語文法A 初級スペイン語文法B 初級スペイン語会話A 初級スペイン語会話B
兼任	講師	ヤカ ナリ 屋形 直明 <令和7年4月> 農学博士	兼任	講師	ヤカ ナリ 屋形 直明 <令和7年4月> 農学博士	兼任	講師	ヤカ ナリ 屋形 直明 <令和7年4月> 農学博士	その他	講師	ヤカ ナリ 屋形 直明 <令和7年4月> 農学博士
		海洋環境化学			海洋環境化学			海洋環境化学			海洋環境化学
兼任	講師	ヤマギ マリ 山口 まり <令和5年4月> 修士(学術)									
		科学史 科学技術と社会									
兼任	講師	ヤマシ チヲ 山下 千里 <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	ヤマシ チヲ 山下 千里 <令和5年4月> 文学修士						
		英語 I A 英語 I B 英語 III A 英語 III B			英語 I A 英語 I B 英語 III A 英語 III B						
兼任	講師	ヤマダ ヒロコ 山田 裕子 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	講師	ヤマダ ヒロコ 山田 裕子 <令和5年4月> 博士(理学)	兼任	講師	ヤマダ ヒロコ 山田 裕子 <令和5年4月> 博士(理学)	その他	講師	ヤマダ ヒロコ 山田 裕子 <令和5年4月> 博士(理学)
		基礎生物学 総合生物学			基礎生物学 総合生物学			基礎生物学 総合生物学			基礎生物学 総合生物学
兼任	講師	ヤマダ マサト 山田 真幹 <令和5年4月> 商学士									
		スポーツ実技 I スポーツ実技 II									
兼任	講師	ヤマモト タケシ 山本 大介 <令和5年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	ヤマモト タケシ 山本 大介 <令和5年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	ヤマモト タケシ 山本 大介 <令和5年4月> 博士(薬学)	その他	講師	ヤマモト タケシ 山本 大介 <令和5年4月> 博士(薬学)
		基礎化学			基礎化学			基礎化学			基礎化学
兼任	講師	ヨコヤマ シンイチ 横山 俊一 <令和5年4月> 博士(数理学)									
		情報科学									

兼任	講師	ヨシダ マサヒロ 吉田 昌弘 <令和5年4月> 修士(異文化コミュニケーション) 英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B	兼任	講師	ヨシダ マサヒロ 吉田 昌弘 <令和5年4月> 修士(異文化コミュニケーション) 英語 I A 英語 I B 英語 III A 英語 III B						
兼任	講師	ルビエラ ヒメズ ティ タカハシ Rubiela Jiménez de Takahashi <令和5年4月> Licenciada en Ingeniería en Ciencias Forestales(°) PD 初級スペイン語文法 A 初級スペイン語文法 B 初級スペイン語会話 A 初級スペイン語会話 B	兼任	講師	ルビエラ ヒメズ ティ タカハシ Rubiela Jiménez de Takahashi <令和5年4月> Licenciada en Ingeniería en Ciencias Forestales(°) PD 初級スペイン語文法 A 初級スペイン語文法 B 初級スペイン語会話 A 初級スペイン語会話 B						
兼任	講師	ワヅヅカ ナホ 鷲塚 奈保 <令和5年4月> 博士(イギリス文学) 英語 I A 英語 I B 英語 III A 英語 III B	兼任	講師	ワヅヅカ ナホ 鷲塚 奈保 <令和5年4月> 博士(イギリス文学) 英語 III A 英語 III B 英語 II A 英語 II B	兼任	講師	ワヅヅカ ナホ 鷲塚 奈保 <令和5年4月> 博士(イギリス文学) 英語 I A 英語 I B 英語 III A 英語 III B	その他	講師	ワヅヅカ ナホ 鷲塚 奈保 <令和5年4月> 博士(イギリス文学) 英語 I A 英語 I B 英語 III A 英語 III B 英語 II A 英語 II B
兼任	講師	ワタナベ トシカズ 渡辺 俊一 <令和5年4月> 博士(理学) 統計学入門 解析学 線形代数	兼任	講師	ワタナベ トシカズ 渡辺 俊一 <令和5年4月> 博士(理学) 統計学入門 解析学 線形代数	兼任	講師	ワタナベ トシカズ 渡辺 俊一 <令和5年4月> 博士(理学) 統計学入門 解析学 線形代数	その他	講師	ワタナベ トシカズ 渡辺 俊一 <令和5年4月> 博士(理学) 統計学入門 解析学 線形代数
			兼任	講師	アライ ヒロコ 荒木 英彦 <令和5年4月> 文学士 英語 I A 英語 I B	兼任	講師	アライ ヒロコ 荒木 英彦 <令和5年4月> 文学士 英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B	その他	講師	アライ ヒロコ 荒木 英彦 <令和5年4月> 文学士 英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B
			兼任	講師	オノノ ケイコ 及川 邦裕 <令和5年4月> 修士(文学) 英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B						
			兼任	講師	タカハシ ユウジ 高橋 強 <令和5年4月> 修士(英語教授法) 英語 II A 英語 II B	兼任	講師	タカハシ ユウジ 高橋 強 <令和5年4月> 修士(英語教授法) 英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B	その他	講師	タカハシ ユウジ 高橋 強 <令和5年4月> 修士(英語教授法) 英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B
			兼任	講師	タカハシ ヒロシ 高橋 寛 <令和5年4月> 修士(文学) 英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B	兼任	講師	タカハシ ヒロシ 高橋 寛 <令和5年4月> 修士(文学) 英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B	その他	講師	タカハシ ヒロシ 高橋 寛 <令和5年4月> 修士(文学) 英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B
			兼任	講師	ノグチ ヨウ リコ 北條 理恵子 <令和5年4月> 博士(獣医学) 心理学入門 個性の心理学	兼任	講師	ノグチ ヨウ リコ 北條 理恵子 <令和5年4月> 博士(獣医学) 心理学入門 個性の心理学	その他	講師	ノグチ ヨウ リコ 北條 理恵子 <令和5年4月> 博士(獣医学) 心理学入門 個性の心理学
			兼任	講師	マツモト シュンキ 松本 俊吉 <令和5年4月> 博士(哲学) 科学史 科学技術と社会	兼任	講師	マツモト シュンキ 松本 俊吉 <令和5年4月> 博士(哲学) 科学史 科学技術と社会	その他	講師	マツモト シュンキ 松本 俊吉 <令和5年4月> 博士(哲学) 科学史 科学技術と社会

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、荒功一専任教授、糸井史朗専任教授、小島隆人専任教授、鈴木美和専任教授、高井則之専任教授、澤山英太郎専任准教授、牧口祐也専任准教授、小糸智子専任講師、周防玲専任講師、朝比奈潔兼任講師が「海洋基礎実習Ⅱ」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、糸井史朗専任教授、高井則之専任教授、福島英登専任教授、森司専任教授、井上菜穂子専任准教授、澤山英太郎専任准教授、周防玲専任講師、柴崎康宏専任助教、朝比奈潔兼任講師が「水族館論」の担当科目増。
- ・周防玲専任助教、講師に昇格のため、職名変更および氏名を変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、藤井琢磨専任講師および松宮政弘兼任講師が就任し「海洋基礎実習Ⅱ」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、藤井琢磨専任講師および松宮政弘兼任講師が就任し「水族館論」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、須江隆兼担教授、森長秀兼担教授、須賀真以子兼担講師が「自主創造の基礎」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、須江隆兼担教授、森長秀兼担教授、吉田一史美兼担講師が「日本を考える」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、青山加奈兼任講師、鷲塚奈保兼任講師から須永豊兼担教授、富樫壮央兼任講師、中川千帆兼任講師に「英語ⅠA」「英語ⅠB」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、須賀真以子兼担講師から長谷川正江兼担教授に「日本語Ⅱ」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、竹俣壽郎兼担准教授から齊藤将士兼担講師に「スポーツ実技Ⅲ」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、中村篤博兼担准教授の「地球環境を考える」を担当科目減。
- ・スミス・コラム兼担講師、准教授に昇格のため、職名変更。
- ・竹内寛彦兼担講師、准教授に昇格のため、職名変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、土屋徳司兼担講師の「総合生物学」の担当科目減。
- ・中井静子兼担助教、講師に昇格のため、職名変更。
- ・小澤明人兼任講師辞任により、「自主創造の基礎」を恒川直樹兼担教授、松田淑子兼担教授に担当者変更、「日本を考える」を鳥山正晴兼担教授、ソコロワ山下聖美兼担教授、鍋本由徳兼担教授、南澤宏明兼担教授、石川元康兼担准教授、瀧川修吾兼担准教授、高野和彰兼担講師に担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、根本洋明兼任講師、田中有希兼任講師から渡邊志兼担教授に「データサイエンスの基礎」の担当者変更。
- ・横山俊一兼任講師辞任により、渡邊志兼担教授に「情報科学」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、岩永祥恵兼任講師、中川千帆兼任講師、吉田昌弘兼任講師から延吉淳子兼任講師、鷲塚奈保兼任講師に「英語ⅡA」「英語ⅡB」の担当科目増とし、真島顕子兼担准教授、及川邦裕兼任講師、高橋寛兼担講師、向井正太兼任講師が就任し「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語ⅡA」「英語ⅡB」を担当。
- ・山田眞幹兼任講師辞任により、「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」を齊藤将士兼担講師に担当者変更。
- ・朝比奈潔兼任特任教授、梶山廣司兼任特任教授、蒲原義明兼任特任教授、根本洋明兼任特任教授、松宮政弘兼任特任教授、眞邊一近兼任特任教授を兼任講師に職名変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、根本洋明兼任講師の「線形代数」を担当科目減。
- ・小倉美加兼任講師辞任により、高橋強兼任講師に「英語ⅡA」「英語ⅡB」の担当者変更、「英語ⅢA」「英語ⅢB」は令和6年度開講時、他の兼任・兼担が担当予定。
- ・加藤理加兼任講師辞任により、荒木英彦兼任講師に「英語ⅠA」「英語ⅠB」の担当者変更。
- ・久保尚也兼任講師辞任により、北條理恵子兼任講師に「心理学入門」「個性の心理学」の担当者変更。
- ・永野良紀兼任講師辞任により、小沢広和兼担教授が「基礎地球科学」「総合地球科学」の担当クラス増。
- ・山口まり兼任講師辞任により、松本俊吉兼任講師に「科学史」「科学技術と社会」の担当者変更。

【令和6年度】

- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、荒功一専任教授、糸井史朗専任教授、小島隆人専任教授、鈴木美和専任教授、高井則之専任教授、福島英登専任教授、森司専任教授、井上菜穂子専任准教授、澤山英太郎専任准教授、若名充専任准教授、牧口祐也専任准教授、間野伸宏専任准教授、小糸智子専任講師、柴崎康宏専任助教、周防玲専任講師から藤井琢磨専任講師、吉富友恭兼任講師、渡辺友美兼任講師に「海洋生物展示学」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、荒功一専任教授、小島隆人専任教授、若名充専任准教授、牧口祐也専任准教授、間野伸宏専任准教授、小糸智子専任講師、藤井琢磨専任講師、松宮政弘兼任講師が「海洋生物学概論」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、荒功一専任教授が「小型船舶操縦実習」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、小島隆人専任教授から酒井久治兼任講師に「海洋基礎物理」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、高井則之専任教授から富士泰期兼任講師に「水産資源学」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、福島英登専任教授、森司専任教授、井上菜穂子専任准教授、若名充専任准教授、間野伸宏専任准教授、柴崎康宏専任助教、藤井琢磨専任講師、松宮政弘兼任講師が「海洋基礎実習Ⅰ」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、井上菜穂子専任准教授から塩本明弘兼任講師に「海洋基礎化学」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、小糸智子専任講師から沼波秀樹兼任講師に「無脊椎動物学」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、朝比奈潔兼任講師から小糸智子専任講師に「海洋基礎生物」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、中井静子兼担講師から藤井琢磨専任講師に「底生物学」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、藤井琢磨専任講師が「海洋生物展示学実習」「水族生態学実験」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、黒滝哲哉兼担教授、竹俣壽郎兼担准教授、難波皓平兼担助教、齊藤将士兼担講師、秋田佳恵兼担講師が「自主創造の基礎」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、吉田一史美兼担講師から黒滝哲哉兼担教授に「日本を考える」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、小堂俊孝兼担教授、阪本久美子兼担教授、須永豊兼担教授、田中弘樹兼任講師、中川千帆兼任講師、山下千里兼任講師、吉田昌弘兼任講師、及川邦裕兼任講師から岩永祥恵兼任講師、田中ゆり兼任講師、富樫須奈美兼任講師、鷲塚奈保兼任講師、小林かおる兼任講師、佐々木南実兼任講師、中村信子兼任講師に「英語ⅠA」「英語ⅠB」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、小堂俊孝兼担教授、須永豊兼担教授、富樫須奈美兼任講師、富樫壮央兼任講師、延吉淳子兼任講師、山下千里兼任講師、吉田昌弘兼任講師から北脇実千代兼担教授、真島顕子兼担准教授、青山加奈兼任講師、堀広治兼任講師、高橋強兼任講師、小林かおる兼任講師、菅原大一太兼任講師、中村信子兼任講師に「英語ⅢA」「英語ⅢB」の担当者変更。
- ・長谷川正江兼担教授が定年退職のため、職名変更。
- ・梶山廣司兼任講師辞任により、「スポーツ科学」を松橋明宏兼担教授に担当者変更、齊藤将士兼担講師が「スポーツ実技Ⅰ」の担当クラス増、錦織千鶴兼担講師が「スポーツ実技Ⅱ」の担当クラス増。
- ・北脇実千代兼担准教授、教授に昇格のため、職名変更。
- ・近藤直樹兼担准教授、教授に昇格のため、職名変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、相澤朋子兼担講師から光澤浩兼担教授、秋田佳恵兼担講師に「基礎生物学」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、竹内寛彦兼担准教授から秋田佳恵兼担講師に「生物学概論Ⅰ」「生物学概論Ⅱ」「生物学実験」の担当者変更。

- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、齊藤将士兼担講師から錦織千鶴兼担講師に「スポーツ実技Ⅲ」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、恒川直樹兼担教授、内山寛兼担教授、秋田佳恵兼担講師が「総合生物学」の担当科目増。
- ・瀧川修吾兼担准教授、教授に昇格のため、職名変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、渡邊志兼担教授、高村正志兼任講師、田中有希兼任講師から鈴木祥平兼担講師、吉田純兼任講師に「情報科学」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、齊藤将士兼担講師が「スポーツ実技Ⅳ」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、岡林識起兼担講師が「基礎化学」「総合化学」「地球環境を考える」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増の理由により、鈴木祥平兼担講師が「統計学入門」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、朝比奈潔兼任講師の「海洋基礎実習Ⅱ」「水族館論」を担当科目減。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、ヴァレリー・スィア・ガリシエ=ホンダ兼任講師、エリザベス・マコーミック・イノ兼任講師からケノアビバ・レア・エンガースミス兼任講師、ケンドー・マイケル・ジョナサン兼任講師、ゴミカイル・アリク・チュア兼任講師、ジョナサン・ティール兼任講師、ダニエル・マイケル・ヘイツ兼任講師、ビッケン・ジョナサン・テイグ・イット兼任講師、モートソン・ダレン・ダグ・ラス兼任講師、レックスロート・ブレント・スティーブン兼任講師に「英語ⅣA」「英語ⅣB」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、木村聡雄兼任講師、田中ゆり兼任講師、鷲塚奈保兼任講師、及川邦裕兼任講師から田中弘樹兼任講師、中川千帆兼任講師、荒木英彦兼任講師、小林かおる兼任講師、佐々木南実兼任講師、菅原大一太兼任講師に「英語ⅡA」「英語ⅡB」の担当者変更。
- ・ルビ・エラ・ヒメス・デ・カハ兼任講師辞任により、「初級スペイン語文法A」「初級スペイン語文法B」を高野雅司兼任講師に担当者変更、「初級スペイン語会話A」「初級スペイン語会話B」をジェン・アバド・ハイメ・フェルナド兼任講師に担当者変更。

【令和7年度】

- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、荒功一教授、糸井史朗教授、小島隆人教授、鈴木美和教授、高井則之教授、福島英登教授、森司教授、間野伸宏准教授、藤井琢磨講師、松宮政弘講師が「海洋生物学演習Ⅰ」「海洋生物学実習Ⅰ」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、荒功一教授、糸井史朗教授、小島隆人教授、高井則之教授、福島英登教授、森司教授、井上菜穂子准教授、澤山英太郎准教授、苫名充准教授、牧口祐也准教授、間野伸宏准教授、柴崎康宏講師、周防玲講師、藤井琢磨講師、松宮政弘講師が「海洋特別講義」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、井上菜穂子准教授、澤山英太郎准教授、苫名充准教授、牧口祐也准教授、柴崎康宏講師、周防玲講師、藤井琢磨講師、松宮政弘講師が「海洋生物学演習Ⅱ」「海洋生物学実習Ⅱ」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、澤山英太郎准教授から野口大毅講師に「バイオインフォマティクス論」の担当者変更。
- ・小糸智子講師の辞任の理由により、「海洋生物学概論」「海洋基礎実習Ⅰ」「海洋基礎実習Ⅱ」「水族館論」「小型船舶操縦法実習」「海洋生物展示学実習」の担当コマ数を荒功一教授に担当者変更、「海洋基礎生物」を倉島陽講師に担当者変更、「学外研修」を藤井琢磨講師に担当者変更、「海洋生物学研究Ⅰ」「海洋生物学研究Ⅱ」を他の基幹教員が担当者数増、「海洋環境学実験」を荒功一教授が担当クラス増、「深海生物学」を藤倉克則講師に担当者変更。
- ・柴崎康宏助教、講師に昇格のため、職名変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、井上貴史教授が「物理学実験」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、岩永祥恵講師、木村聡雄講師、田中ゆり講師、荒木英彦講師、向井正太講師から小堂俊孝教授、阪本久美子教授、須永豊教授、青山加奈講師、田中弘樹講師、中川千帆講師、菅原大一太講師、麻生久美子講師、鈴木希講師に「英語ⅠA」「英語ⅠB」の担当者変更。
- ・菅沼桂子教授辞任により、「経済学入門」「経済と現代社会」を國光洋二講師に担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、須永豊教授、延吉淳子講師、小林かおる講師、菅原大一太講師から木村聡雄講師、田中ゆり講師、鷲塚奈保講師、中村信子講師、石田毅講師に「英語ⅡA」「英語ⅡB」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、難波謙二教授の「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」「スポーツ科学」を担当科目減。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、長谷川正江講師から清松大講師に「日本語Ⅱ」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、濱田龍義教授、根本洋明講師から中山洋将准教授に「解析学」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、横山安紀子教授、青山加奈講師、小林かおる講師から宇佐教子講師、富樫須奈美講師、延吉淳子講師、荒木英彦講師、向井正太講師、佐々木南実講師、麻生久美子講師、石田毅講師、鈴木希講師に「英語ⅢA」「英語ⅢB」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、錦織千鶴講師から竹俣壽郎准教授に「スポーツ実技Ⅲ」の担当者変更。
- ・長澤郁子准教授、教授に昇格のため、職名変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、長澤郁子教授、錦織千鶴講師、野村正弘教授、清松大講師が「自主創造の基礎」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、佐々木聖使講師から吉田（土屋）一史美講師に「倫理学入門」「倫理学の現在」の担当者変更。
- ・渡邊志教授辞任により、「データサイエンスの基礎」を中山洋将准教授に担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、光澤浩教授が「総合生物学」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、岡林謙起講師が「化学実験」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、鈴木祥平講師、根本洋明講師の「統計学入門」を担当科目減。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、鈴木祥平講師から中山洋将准教授に「情報科学」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、蒲原義明講師から清松大講師に「日本語表現の基礎」「日本の文学」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため新規科目増の理由により、大熊康典教授、古賀徹教授、坂本力也教授、佐藤佑介教授、篠田雅路教授、遠山岳史教授、大澤正彦准教授、JEGO ERIC HAJIME准教授、中村文紀准教授が「データサイエンスの世界」を担当。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、亀井真之介准教授、小山正太准教授が「日本を考える」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、松宮政弘講師が「水産利用学実験」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、岡村寛講師から安部淳講師に「水族統計学」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、栗原順子講師が「初級中国語会話A」「初級中国語会話B」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、古木正彦講師から鈴木光俊講師に「職業指導」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、本多牧生講師、塩本明弘講師が「海洋環境化学」の担当科目増。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、牧野光琢講師から竹村紫苑講師に「水産経済学」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、ケノアビバ レア エンジャー ミス講師、ゴ ミカイル アリク チュア講師、ビッケン ジョナサン デイヴィッド講師、レックスロート・ブレント・ステイブン講師からカイ コナン講師、シュワツ チェルソン講師、デンザー マイケル講師、バーカー プラム講師、ヒグチソニア ミヨ講師に「英語ⅣA」「英語ⅣB」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、ジェン・アバド・ハイメ・フェルナド講師から高野雅司講師に「初級スペイン語会話A」「初級スペイン語会話B」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当教員の見直しの理由により、塩本明弘講師から永井宏史講師に「海洋基礎化学」の担当者変更。
- ・教育効果の向上を図るため担当者増および見直しの理由により、魯洙彬講師が「初級韓国語文法A」「初級韓国語文法B」「初級韓国語会話A」「初級韓国語会話B」の担当科目増。

(注)・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採

大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。

原則としてAC教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、AC教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、AC教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、AC教員審査を受審する必要があります。）

- ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
10 名	5 名	8 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。

- ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画(改正前大学設置基準等)							現在(報告時)の状況						
教授	准教授	講師	助教	計(A)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(B'))	助手(B')
6	5	1	2	14	-	0	7	5	3	0	15	15	0
(7)	(5)	(1)	(2)	(15)	(-)	(0)							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計(C)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(C'))	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(D'))	助手(D')
7	5	3	0	15	15	0	6	5	3	0	14	14	0
[1]	[0]	[2]	[Δ2]	[1]	[-]	[0]	[0]	[0]	[2]	[Δ2]	[0]	[-]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。

高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基(主)」及び「基(専)」の計)」として記入してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。

また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A'))」欄には「-」を記入してください。

- ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
- ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、現在(報告時)の状況に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、現在(報告時)の状況に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:Δ1)
- ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合計した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{14} = 107.14\%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C'')}}{\text{設置時の計画(A'')}} = \frac{15}{-} = -\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{15} = 0\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = -\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1 人	必修	7 科目	必修	7 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	7 科目	選択	5 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	14 科目	計	12 科目	計	2 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{14} = 7.14 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

1 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
						該当なし	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>小系智子講師の辞任については、退職後も全ての科目を開講し教育研究の質は維持されている。 なお、学生には、ガイダンス時における教員紹介、シラバス、時間割により周知している。</p>

(注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和4年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<生物資源科学部 海洋生物学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	特になし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

日本大学生物資源科学部においては、「日本大学生物資源科学部FD委員会」を設置し、PDCAサイクル等を適切に機能させるため組織的なFD活動を推進している。また、「日本大学生物資源科学部SD委員会」を設置し、大学の中期計画に基づき、教職員一人ひとりが帰属意識、当事者意識の醸成を図るとともに収支改善に向けた理解と協力を得ることを目的とした講演を中心とした研修会を実施している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

日本大学生物資源科学部FD委員会は、学部次長、学務担当、学生担当、研究担当、就職指導担当、学務委員会副委員長、学科主任、事務局次長、事務長、経理長、教務課長、教務課幹事(若干名)、学部長が指名する者により構成され、課題に応じて年数回、不定期に開催する。令和4年度は2回開催し、第1回目が31名、第2回目が30名の委員が参加した。また、令和5年度は5回開催しており、28名中、第1回28名、第2回28名、第3回23名、第4回27名、第5回27名の委員が参加している。令和6年度は4回開催しており、25名中、第1回19名、第2回19名、第3回12名、第4回14名の委員が参加している。

なお、日本大学生物資源科学部SD委員会は、令和4年度は4回開催し、第1回目が11名、第2回目が8名、第3回目が11名、第4回目が10名の委員が参加した。令和5年度は8回開催しており、11名中、第1回8名、第2回11名、第3回11名、第4回11名、第5回11名、第6回11名、第7回11名、第8回11名の委員が参加した。令和6年度は、5回開催しており、10名中、第1回8名、第2回7名、第3回10名、第4回10名、第5回10名の委員が参加している。

c 委員会の審議事項等

日本大学生物資源科学部FD委員会(日本大学生物資源科学部FD委員会内規第2条)

第2条 委員会は、次の各号に定める事項について、審議する。

- ① 学内外のFD情報の収集及び調査並びにFD推進に係る各種の分析されたデータの提供に関する事項
- ② 教員に対する研修会、講習会及び講演会等の開催に関する事項
- ③ 学部・大学院におけるFD活動の推進に関する事項
- ④ 学生による授業評価の推進に関する事項
- ⑤ 授業公開及び参観の実施に関する事項
- ⑥ FD活動における広報活動の推進に関する事項
- ⑦ その他FDに関する事項

生物資源科学部SD委員会では、研修の実施計画及び実施方法等を議題としている。

② 実施状況

a 実施内容

(1) 日本大学生物資源科学部FD委員会

- ・教員に対する研修会の開催
- ・学生による授業評価アンケートの実施
- ・学部・大学院におけるFD活動の周知

(2) 日本大学生物資源科学部SD委員会

- ・「生物資源科学部財政説明会」
- ・「学部の将来を検討する各種委員会の説明会」の研修

- ・コンプライアンス及び危機管理に係る研修

b 実施方法

日本大学生物資源科学部FD、SD委員会においてFD、SD実施計画を協議し、年数回程度、学部全体で実施している。

実施方法は、対面、オンライン形式及びオンデマンド形式で実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD研修会は各回とも教授会開催日と同日に開催し、ハイブリッド形式（対面及びオンライン）で実施し、当日の欠席者には動画によるオンデマンド配信も実施し構成員全員が参加した（休職者等は除く）。

FD研修会

令和4年度

- ・第1回（11月24日）：①日本大学生物資源科学部入試動向
②学生募集に関する調査分析
③受験生獲得策
- ・第2回（12月8日）：①新学習指導要領の概要とそれに伴う入学者の特徴、それらを踏まえた授業展開について
②高大連携の需要と教育的効果、大学広報との関連性
～高等教育現場の変容「探求」を軸に～
- ・第3回（1月19日）：模試の傾向から推測される受験者層と、その特徴を踏まえた授業へのアドバイス

令和5年度

- ・第1回（9月21日）：大学院生へのコンプライアンス教育の質的向上
（研究倫理と正しく向き合うために近年の不正事例の動向と対策を理解する）
対面形式・オンデマンド形式
- ・第2回（1月25日）：学生募集の在り方や新入生の成長を促す教育活動の模索
（入試環境と河合塾全統共通テスト模試の志望動向から読み解く）
対面形式・オンデマンド形式
- ・第3回（3月15日）：技術流出の防止に向けて、教職員の危機管理能力や教学管理能力の向上
（技術流出のリスクのパターンや一人ひとりが気を付けるべきポイントを理解）
対面形式

令和6年度

- ・第1回（7月25日）：ダイバーシティ実現を妨げる無意識のバイアス
対面形式・オンデマンド形式
- ・第2回（12月5日）：2024年度GPS Academic 受検結果報告
対面形式・オンデマンド形式
- ・第3回（12月19日）：これからの学生募集と学生教育方針にむけて一入試環境と河合塾全統共通テスト模試の志望動向から読み解く傾向
対面形式・オンデマンド形式
- ・第4回（3月11日）：特許権を中心とした発明等の解説
対面形式・オンデマンド形式

SD研修会

令和4年度

- ・第1回（7月7日～7月29日）：「日本大学の創立と学祖山田顕義について」の研修（参加者329名）
- ・第2回（8月4日～8月27日）：「生物資源科学部財政説明会」（参加者326名）
- ・第3回（11月24日～12月16日）：「本学の障がい学生支援の仕組みとその重要性について」の研修（参加者321名）

令和5年度

令和5年度については、大小研修会を計10回実施しているが、主要な研修は以下4回分となる。

- ・第1回（7月27日）：情報管理研修会
個人情報等に関する知識とデジタルデータの取扱いの講習による情報管理に必要な知識の向上と意識の醸成（参加者331名）
- ・第2回（9月28日）：「生物資源科学部財政説明会」（参加者232名）
財務に関する知識を獲得し経営的視点を養うため
- ・第3回（2月15日～2月26日）：学校法人日本大学行動規範の理解促進に係る研修（参加者317名）
本学が社会の一員であることを認識し公共的、社会的使命を自覚する

- ・第4回（3月18日～3月29日）：日本大学危機管理講習（参加者179名）
本学が社会の一員であることを認識し公共的、社会的使命を自覚する

令和6年度

令和6年度については、大小研修会を計6回実施しているが、主要な研修は以下4回分となる。

- ・第1回（9月26日）：「生物資源科学部財政説明会」（参加者319名）
財務に関する知識を獲得し経営的視点を養うため
- ・第2回（10月3日）：「学部の将来を検討する各種委員会の説明に係る研修会」（参加者320名）
学部将来を検討する3委員会の概要及び進捗状況について共有・把握する
- ・第3回（12月19日）：人権侵害防止に係る巡回講演会（参加者280名）
ハラスメントに関する基本知識及び人権侵害防止における本学の取り組み及び事例紹介
- ・第4回（1月9日～2月28日）：コンプライアンス研修（参加者300名）
日本大学行動規範に基づいた組織風土を醸成するため

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

F D研修会で得た情報をもとに教員個々で授業へ還元することを促し、その結果は各学期（前学期及び後学期）末に学生による授業評価アンケートを実施することで、チェック（検証）とアクション（改善）の実施に努めている。また、授業評価アンケートを実施した教員には「授業改善レポート」の提出を義務付けている。

S D研修会では、人権侵害防止に関する理解、コンプライアンスの知識向上と意識醸成や、学部の将来構想の共有等、様々な研修を実施することにより教職員の知識向上や意識醸成に努め、改善に活かされている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

既存の学科と同様、各学期末（前学期及び後学期）に学生による授業評価アンケートを実施している。また、授業評価アンケートを実施した教員には「授業改善レポート」の提出を義務付けている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

令和6年度については、前学期にGoogleフォームを活用し、後学期については運用方法の改善として教務システムを使った授業評価アンケートを実施することにより、教員が集計結果を確認することができる。また、学部で集計した「授業評価アンケート」の結果は、日本大学HPで公開しており、学生はWeb上で確認することができる。

なお、教員より提出された「授業改善レポート」は学部ポータルサイト（LiveCampus）から学生へ公開しており、教員が策定した改善策等を確認することができる。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

生物資源科学部海洋生物学科は、令和5(2023)年4月、海洋生物と海洋環境の持続的な維持・管理、生物資源としての海洋生物の効率的な生産及び利用を中心に、関連する生命科学、生産科学、利用科学及び環境科学分野の知識・技術を身につけた人材を養成する。さらに、海洋生物とこれを取り巻く環境の保全や人類の豊かな生活の調和を創造できる能力を持った人材を養成することを目的に設置され、令和5・6年度は主に教育課程の実質化の取り組みの他、以下の取り組みを行った。

1. 入学生確保

主な募集・広報用印刷物としては、本学全学部を紹介する「日本大学進学ガイド」、本学部を紹介する「日本大学生物資源科学部ガイドブック」、入試に関しては「日本大学生物資源科学部の受験 Q&A」、本学部各学科の内容を紹介する「学科リーフレット」を制作し、また、ホームページ作成を始め、高校生の興味を惹くコンテンツを充実させるため「学部のYouTubeチャンネル」、「学部のすべてがわかる動画ギャラリー」による学科・研究内容・キャンパスライフの紹介を行った。他にもLINEやFacebookを活用し、高校生に親しまれる情報発信を行った。また、オープンキャンパス・入試相談会・学部説明会の開催や、高校訪問、高校説明会への参加、学外説明会への参加などを積極的に展開し、本学部学科の認知の浸透を図った。

今後もより一層本学に適した入学者を確保すべく、適切な広報活動を実施するよう努めていく。

2. 新入生オリエンテーション

今年度も新入生に対して4月に「学部要覧」「ガイダンスの手引き」「講義要項(シラバス)」「時間割」「取得資格一覧」「履修モデル」等を用いて4年間の学生生活に必要な事項・情報について指導するとともに、カリキュラム編成の考え方、学習計画、各人の時間割作成、履修方法、学習方法を指導した。また、IT関連(パソコン等の利用法、電子メール、グーグルサービス、マイクロソフトオフィス、Zoom等)の登録と利用方法や図書館の利用方法及び健康管理を含めた学生生活全般についての説明も行った。今後、保護者に対して、学習支援システム(Live Campus)を利用して、学生生活に係る情報、学生の単位取得状況、出席状況等の情報共有を図っていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和7年5月13日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

・令和13年度に評価機関(公益財団法人大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含め
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

日本大学生物資源科学部FD委員会内規

令和3年1月21日制定

(設置)

第1条 生物資源科学部（以下「学部」という）に日本大学生物資源科学部FD委員会（以下「委員会」という）を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に定める事項について、審議する。

- ① 学内外のFD情報の収集及び調査並びにFD推進に係る各種の分析されたデータの提供に関する事項
- ② 教員に対する研修会、講習会及び講演会等の開催に関する事項
- ③ 学部・大学院におけるFD活動の推進に関する事項
- ④ 学生による授業評価の推進に関する事項
- ⑤ 授業公開及び参観の実施に関する事項
- ⑥ FD活動における広報活動の推進に関する事項
- ⑦ その他FDに関する事項

(委員会の構成)

第3条 委員会は、次の者をもって構成し、委員及び幹事は学部長が委嘱する。

- ① 委員長
- ② 副委員長
- ③ 委員
 - (1) 学部次長
 - (2) 学務担当
 - (3) 学生担当
 - (4) 研究担当
 - (5) 企画広報担当
 - (6) 就職指導担当
 - (7) 学務委員会副委員長
 - (8) 学科主任
 - (9) 事務局次長
 - (10) 事務長
 - (11) 経理長
 - (12) 教務課長
 - (13) 学部長が指名する者 若干名
- ④ 幹事 若干名

(委員長)

第4条 委員会の委員長は、学務担当とする。

2 委員長に事故あるときは、副委員長又は委員長の指名する委員がその職務を代行する。
(副委員長)

第5条 副委員長は、委員長を補佐する。

(任期)

第6条 委員長、副委員長、委員及び幹事の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員会の招集)

第7条 委員会は、必要に応じて委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長は、必要に応じて委員以外の者を出席させ意見を求めることができる。

(小委員会)

第8条 委員会に、小委員会を設けることができる。

(所管)

第9条 委員会に関する事務は、教務課が行う。

附 則

この内規は、令和3年1月21日から施行する。